

# 海軍公報

第五一九四號

海軍大臣官房

昭和二十年十月二日(火)

### ○令 達

官房第四四二號

作戦關係資料蒐集委員會規程左ノ通定ム

昭和二十年十月一日

海軍大臣

作戦關係資料蒐集委員會規程

第一條 聯合軍ニ對シ提示スベキ作戦關係資料ヲ蒐集整理スル

ル爲海軍省内ニ作戦關係資料蒐集委員會ヲ置ク

第二條 委員會ハ委員長、委員、幹事長及幹事ヲ以テ之ヲ組織

シ其ノ編制左ノ如シ

委員長 將官 一名

委員 委員長ノ要請アル場合其ノ都度之ヲ指定ス

幹事長 將官 一名

幹事 佐官 約二十名

第三條 委員長ハ會務ヲ總理ス

第四條 委員ハ委員長ヲ輔佐ス

第五條 幹事長ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ノ事務ヲ統理ス

第六條 幹事ハ幹事長ノ命ヲ承ケ委員會ノ事務ヲ掌ル

官房第四四三號

海軍大學校、海軍兵學校、海軍軍醫學校及海軍經理學校ニ定員

ヲ置カザル期間左ニ依リ之ヲ管理スベシ

昭和二十年十月一日

海軍大臣

學 校 名 管 理 者

海軍大學校 橫須賀鎮守府司令長官

海軍兵學校(舞鶴分校) 吳鎮守府司令長官

海軍兵學校(舞鶴分校) 舞鶴鎮守府司令長官

海軍軍醫學校 橫須賀鎮守府司令長官

海軍經理學校 橫須賀鎮守府司令長官

### ○雜 款

○文書交換使發差取止メノ件

東京、橫須賀、仙臺間文書交換使ハ九月二十八日限り發差ヲ取

止ム

(東北地方海軍部)

○移轉

山形地方海軍人事部ハ九月二十五日左記ニ移轉セリ

海軍公報 第五一九四號 昭和二十年十月二日

三二二

0033

記  
山形市七日町五〇一番地

(山形地方海軍人事部)

九月十五日當支部事務所ヲ左記ニ移轉セリ

記

愛知縣西春日井郡西春日國民學校內

(横須賀海軍軍需部名古屋支部)

海軍經理學校ハ九月二十一日品川幕場ヨリ左記ニ移轉セリ

記

東京都品川區上大崎(省線目黒驛下車)海軍大學校內

(海軍經理學校)

○轉官

海軍技師門脇國郎ハ八月十五日氣象技師ニ、同熊谷爲夫、同伊藤甲辰ハ九月十五日、同中野辰作ハ九月二十八日鐵道官ニ孰モ轉官セリ

海軍技師兼鐵道技術研究所技師深谷俊明ハ九月十九日鐵道技術研究所技師專任トナレリ

0034

# 海軍公報 第五一九五號

昭和二十年十月三日(水)

海軍大臣官房

○通牒

醫務二第八六號

昭和二十年九月二十四日

海軍省人事局長  
海軍省醫務局長  
海軍省經理局長

各鎮守府參謀長  
各警備府參謀長  
關係各廳長 殿

海軍病院入院患者ニ對スル轉免役等ノ處理ニ  
關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ自今左記ニ依リ取扱相成度  
追テ本件ハ八月十五日以降ノ分ニ付テモ適用シ差支無之

記

- 一 從來海軍病院長調製ノ轉免役(召集解除)者其中名簿記載事項ニ新ニ「症狀等位」ナル一項ヲ追加ス  
海軍病院長ハ本年達第一〇一號別表ノ症狀等位表ニ依リ之ガ等位ヲ策定スルモノトス
- 二 轉免役賜金請求ニ要スル診斷書ハ前號ノ其中名簿ヲ以テ之ニ代ヘシムルモノトシ自今調製ヲ要セズ(恩給法上ノ公務症ニ對スル診斷書ノ調製ハ從來通)

三 傷病手當ノ支給手續ニ付テモ前工號ヲ準用(其中名簿ニ付テハ昭和二十年海人三機密第二號ノ四四ヲ準用)スルモノトス

海軍公報 第五一九五號 昭和二十年十月三日

三三三

0035

# 海軍公報 第五一九六號

昭和二十年十月四日(木)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房第四四四號

海軍復員收容部規程左ノ通定ム

昭和二十年十月一日

海軍大臣 臣

### 海軍復員收容部規程

第一條 外地ヨリ歸還ノ復員スベキ海軍軍人及復員輸送艦船乗員補缺員ヲ收容スル爲横須賀、吳、佐世保、舞鶴、大阪及大湊ニ海軍復員收容部ヲ置ク

海軍復員收容部ハ當該鎮守府又ハ警備府ニ屬ス

第二條 海軍復員收容部ニ部長、部員及附ヲ置ク其ノ職員表ハ別表ニ依ル

第三條 部長ハ部務ヲ總理ス

第四條 部員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第五條 所屬長官ハ必要ニ應ジ所要ノ地ニ海軍復員收容部ノ支部ヲ置クコトヲ得

第六條 海軍復員收容部職員及海軍復員收容部ニ收容セラレタル者ノ身上其ノ他ノ取扱ニ付テハ海兵團ノ職員ニ準ズルモノトス

(別表添)

官房機密第四七二號

臨時軍事費特別會計歳出科目中左ノ通追加ス

昭和二十年十月二日

海軍大臣 臣

款	項	目	節	解	疏	會計科目
臨時軍費	臨時軍費	終戰處理費		聯合國側ニ對スル準備供給施設其ノ他ニ要スル諸費		ソニ

官房第二二〇號

本年八月十五日以前ニ除籍又ハ廢止セラレタル艦船部隊等ノ經營品定額表ハ之ヲ廢止ス

昭和二十年十月三日

海軍大臣 臣

## ○通 牒

經機密第三號ノ六八

昭和二十年九月二十二日

0036

海軍省 經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏

終戦連絡關係經費支辨區分等ノ件通牒

聯合國進駐軍ニ對スル施設勞務等提供ニ要スル經費支辨區分等ハ聯合國側ニ於テ直接處辨スル場合ノ外左記ニ依ル儀ト了知相成度

記

一 終戦連絡事務局（終戦連絡地方事務局、地方連絡委員會ヲ含ム以下同ジ）ニ於テ施設勞務等ノ準備提供ノ爲特ニ要スル經費

日本銀行貸上金支辨トシ同經費支出手續ハ別紙要領ニ依ルモノトス

二 終戦連絡事務局ノ個有經費

外務省（終戦連絡中央事務局）所管經費支辨トシ同經費支出手續ハ所管省ノ定ムル所ニ依ルモノトス

三 前二號ノ外海軍ニ於テ特ニ施設勞務等ヲ準備提供スル場合及前二號該當事項ニシテ支出上不便多キ場合ニ要スル經費（海軍機關ノ個有經費ヲ除ク）

臨時軍事實費（終戦處理費）支辨トシ（人件費、物件費等ノ内譯ヲ將來ノ爲整理シ置クコト）同經費支拂ハ關係廳ノ經費掌理者之ヲ掌理スルモノトス

（別紙）

聯合國進駐軍ニ對スル施設等提供ノ爲ノ經費

支出ニ關スル件

聯合國進駐軍ニ對シ物施設等ヲ提供スル爲經費ヲ支出スル場合ノ措置ハ左ニ依ルコト

一 終戦連絡事務局（以下事務局ト稱ス）ニ於テ聯合軍司令部ヨリ物的施設等提供方中入ヲ受ケタルトキハ之方調達ノ爲必要トスル經費ニ付其ノ用途、使用地、使用地別金額、事務擔當者名等ヲ事務局ヨリ大藏省外資局（以下外資局ト稱ス）ニ連絡スルコト

二 遠隔ノ地ニ於ケル緊急不時ノ經費支拂ニ充ツル爲必要アルトキハ事務局ハ豫メ資金ノ用途、使用地、使用地別金額、事務擔當者名等ヲ具シ資金ノ前渡ニ付外資局ニ協議スルコト

三 前二號ノ場合ニ於テ外資局ハ日本銀行ニ對シ必要ナル經費ヲ支出スベキ旨ノ指示ヲ爲スコト

四 日本銀行前號ノ指示ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ヲ日本銀行ニ於ケル當座預金事務局口座ニ振込ミタル上之ヲ事務局長又ハ其ノ指定スル責任者ニ通知スルコト

五 前號ノ場合ニ於テ資金ノ使用地ガ隔地ナルトキハ日本銀行ハ右振込ヲ爲スコトナク直ニ其ノ地域ニ在ル日本銀行支店又ハ日本銀行ニ於テ適當ト認メタル銀行（以下取扱銀行ト稱ス）ニ之ヲ送付スルコト

取扱銀行ハ右入金額ヲ事務擔當者名義ノ別口預金勘定（日本銀行ニ於テハ當座預金）トシテ整理シタル上當該事務擔當者

0037

<p>三通知スルコト 前項ノ名義ハ「終戦連絡事務擔當者」ノ肩書ノ下ニ官職氏名ヲ表示スルコト</p>	<p>六 本費用ノ支拂ハ總テ日本銀行本店又ハ取扱銀行宛小切手ニ依ルモノトシ小切手ノ振出人ハ豫メ預金銀行ニ對シ一定ノ印鑑ノ届出ヲ爲シ置クコト</p>	<p>七 事務擔當者其ノ受取リタル資金方不要トナリタルトキ又ハ不當ニ餘裕ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク之ヲ日本銀行ニ返付スルコト</p>	<p>八 事務擔當者ハ資金ノ受拂ノ狀況ニ關スル計表ヲ毎月末日ニ於テ調整シ事務局ヲ經テ外資局ニ報告スルコト</p> <p>外資局ハ前項ノ外必要アルトキハ事務擔當者ヨリ所要ノ報告ヲ徵スルコトアルベキコト</p>	<p>○難 款</p>	<p>○移轉 當部ハ十月一日左記ヘ移轉セリ</p>	<p>一 本 部 横須賀市久里濱 舊海軍通信學校内</p> <p>一 東京出張所 東京都芝區高濱町八 友野鐵(電話三四四一九一) 工所内(品川驛東口ヨリ約三 〇米)</p> <p>被服、糧食ニ 關スルコト</p>
<p>一 安浦出張所 横須賀市安浦一丁目 刃武館内</p> <p>燃料ニ關スル コト</p>	<p>備考 沼津工作學校内ニ出張所ヲ設置ノ豫定 (沼津ニ於ケル復員關係) (横須賀海軍軍需部)</p>	<p>當部廳舎九月二十六日左記ヘ移轉セリ</p> <p>記 仙臺市南六軒丁東北學院専門部内 (電話 仙臺非常 三五番) (東北海軍軍需監督部)</p>	<p>○改編 羅津方面特別根據地隊並ニ羅津通信隊ハ七月二十五日附夫々元山方面特別根據地隊及元山通信隊ニ改編セラレ即日元山府斗方里ニ於テ事務ヲ開始セリ</p> <p>○郵便物發送先 自今當隊並ニ元山通信隊宛郵便物ハ左記ニ發送相成度</p> <p>記 咸鏡南道元山郵便局氣付 元山方面特別根據地隊(電話一五四六番) 元山通信隊(京城ヨリ元空經由直通電話アリ) (元山方面特別根據地隊)</p>	<p>○出張所廢止 海軍省第十分室所在ノ當所ハ今般殘務終了セシニ付廢止セリ</p>		

海軍公報 第五一九六號 昭和二十年十月四日

三二七

0038

追テ當廠内地事務ハ自今左記事務所ニ於テ之ヲ行フ

記

山口縣徳山市第三海軍燃料廠第一分室内

第六海軍燃料廠徳山事務所

(第六海軍燃料廠東京出張所)

○轉官

海軍書記大塚福ハ六月二十日鐵道官補ニ、海軍書記兼海軍屬西川金義ハ十月一日外務屬ニ孰モ轉官セリ

0039

終戰關係

# 海軍公報

第五一九七號

昭和二十年十月五日(金)

海軍大臣官房

○ 通 牒

軍務一第一八〇號

昭和二十年十月一日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

復員還送ヲ主任務トスルコトニ指定セラレタル海軍艦船ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍大臣

宛 部内一般

第二三一八四一番電

自今復員還送ヲ主任務トスルコトニ指定セラレタル海軍艦船ハ其ノ指定ノ日ヲ以テ令ナクシテ除籍、特別輸送艦(船)ト稱スルコトニ定ム

特別輸送艦(船)ノ所管ハ特令アル迄現所管トシ任務、行動、乘員及燃料、諸物件等ノ補給等ニ關シテハ別ニ指令ス

海軍公報 第五一九七號 昭和二十年十月五日

三二九

0040



海軍公報 第五一九八號

昭和二十年十月六日(土) 海軍大臣官房

○通 牒

官房軍第四六三號

昭和二十年十月五日

海軍省副官

各廳長 殿

在外地軍官民宛郵便物ニ關スル件通牒

首題ノ件左記ノ通改メラレ候

記

一 在外地所在軍官民宛郵便物ノ差出ハ左ノ種類ニ限ル

(イ) 公用 封書及葉書

(ロ) 私用 葉書

二 左ノ各地ニ所在スル軍官民宛郵便物ノ宛名ハ頭書ノ郵便局氣付トスルコト

- |   |   |
|---|---|
| マ<br>ー<br>シ<br>ヤ<br>ル<br>方<br>面           | ウ<br>オ<br>ツ<br>ジ<br>エ<br>、<br>マ<br>ロ<br>エ<br>ラ<br>ツ<br>、<br>プ<br>、<br>ミ<br>レ<br>、<br>ヤ<br>ル<br>ト<br>、<br>エ<br>ン<br>ダ<br>ー<br>ビ<br>ー<br>、<br>ナ<br>ウ<br>ル<br>、<br>オ<br>ー<br>シ<br>ヤ<br>ン |
| 東<br>カ<br>ロ<br>リ<br>ン<br>方<br>面           | ト<br>ラ<br>ツ<br>ク<br>、<br>ボ<br>ナ<br>ベ<br>、<br>ク<br>サ   |
| 西<br>カ<br>ロ<br>リ<br>ン<br>方<br>面           | イ<br>、<br>モ<br>ー<br>ト<br>ロ<br>ツ<br>ク<br>、<br>パ<br>ラ<br>オ<br>、<br>ヤ<br>ツ<br>ク<br>、<br>ロ<br>タ<br>、<br>バ<br>ガ<br>ン   |
| マ<br>リ<br>ア<br>ナ<br>小<br>笠<br>原<br>方<br>面 | ロ<br>タ<br>、<br>バ<br>ガ<br>ン  |
| ニ<br>ユ<br>ー<br>ギ<br>ニ<br>ヤ<br>方<br>面      | ニ<br>ユ<br>ー<br>ギ<br>ニ<br>ヤ  |
| ラ<br>バ<br>ツ<br>ル<br>方<br>面                | ラ<br>バ<br>ツ<br>ル  |

(イ) 横須賀郵便局氣付

海軍公報 第五一九八號 昭和二十年十月六日

昭和二十年十月六日(土)

海軍大臣官房

吳郵便局氣付 菲島方面

門司郵便局氣付 南鮮方面

(ニ) 右以外ノ各地ニ付テハ追而定メラル

(ハ) 郵便物ノ宛名ノ記載要領ハ次ノ通トス但シ所在地及部隊名

等ハ固有名ヲ記載スルモ差支ナシ

三 横須賀郵便局氣付

例一 横須賀郵便局氣付

例二 横須賀郵便局氣付

何 某 殿

何 某 殿

何 某 殿

經豫第三號ノ一二五

昭和二十年九月二十七日

海軍省經理局長

關係各廳長 殿

支田官及歳入徴收官廢止ニ伴フ處置ノ件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付キ了知相成度

發 海軍省經理局長

宛 關係各廳長

第二七一五二〇番電

一 來ル十月十五日限り經理部(支部ヲ含マズ)、經理局以外ノ各支出官及歳入徴收官ハ之ヲ廢止シ其ノ事務ハ所管經理部又ハ經理局ノ支出官、歳入徴收官ニ之ヲ引繼ギ當該廳ニハ資金前渡官吏、收入官吏ヲ設置セシメラルル豫定ニ付準備ヲ進メラレ度

二 支出官又ハ歳入徴收官ノ置カルル廳廢止セラレ又ハ定員ヲ置カレズ殘務整理ノ爲必要アル場合ハ前項ニ準ジ所管經理部又ハ經理局ノ支出官又ハ歳入徴收官ニ於テ資金前渡官吏又ハ收入官吏ヲ任命ノコトニ取計ハレ度

○雜 款

○轉官

舊 官	氏 名	新 官	轉官月日	記事
海軍技師	前澤徳太郎	鐵道官	一〇月二日	
同	島田 忍	同	同	
同	遠藤 敬一	同	同	
同	諏訪 忠重	同	同	
同	相野 健六	同	同	

0042

# 海軍公報

第五一九九號

昭和二十年十月八日(月)  
海軍大臣官房

## ○通 牒

海人一第一號ノ二三六

昭和二十年十月四日

海軍省人事局長

各所屬(長官)殿  
關係各所轄長)殿

解員關係令達等ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍大臣

宛 支那方面艦隊、十方面艦隊、南西方面艦隊、高雄警備府、

二遣支艦隊、二南遣艦隊長官

官房第二二一五四八番電

支那方面艦隊、十方面艦隊、南西方面艦隊、

高雄警備府方面海軍軍人軍屬現地解員ノ件

CSF 10HF 高警2KF 各長官ハ麾下海軍軍人軍屬中解員後引續キ現地ニ居留セントスル者ニ付左ニ依ル外長官所定ニ依リ現地解員

(豫備役編入、依願免官ヲ含ム)ヲ行フコトヲ得

一 士官及佐官タル豫備士官並ニ高等文官ニ在リテハ該當者ヲ

海軍大臣ニ其中シ解員ハ海軍大臣直接之ヲ行フ

二 豫備士官タル尉官並ニ判任文官同待遇者ニ付テハ海軍大

臣ニ其ノ官職階氏名(電報符、入籍番號又ハ記號ヲ附記)ヲ右

區分ニ依リ速ニ報告ス

三 本令ニ依リ解員トナルベキ下士官兵ノ特殊任用進級ハ八月十五日以降任用進級セラレザリシ者ニ付解員ノ日ニ於テ官房

機密第二一〇一一〇番電第五項ニ依リ實施スルコトヲ得

四 文官ニ對スル階級及任用ニ付テハ官房人機密第三〇一四〇一

四〇一電ニ依ル

五 解員トナルベキ者ノ給與ニ關シテハ別ニ定ム

發 海軍省軍務局長、海軍省人事局長

宛 支那方面艦隊、十方面艦隊、南西方面艦隊、高雄警備府、

二遣支艦隊、二南遣艦隊長官

第三二一六〇一電  
官房人第二二一五四八番電關聯  
在外軍人軍屬ノ現地解員ハ被解員者今後ノ生活ヲ保障シ得ル場  
合ニ限ルモノトシ事前ニ相手國官憲ト連絡シ充分了解ヲ取リタ  
ル後解員實施ノコトニ取計ハレ度

海軍公報 第五一九九號 昭和二十年十月八日

三三三

0043

宛 各鎮守府、各警備府（除海南警備府、高雄警備府）長官  
各地方海軍人事部

第二三〇九五八番電

外地復員輸送用艦船乗員ノ身上取扱及給與ニ  
關スル件

今次外地復員輸送用艦艇乗員ノ身上取扱及給與ニ關シ左ノ通定  
メラレタルニ付了知相成度

- 一 復歸ヲ命ジタル者ニ對シテハ解員取消トスルモ解員時交付  
セル諸給與等ハ返納セシメズ且復歸ニ要スル旅費ヲ支給ス
- 二 服務ハ相當長期ニ亘ル者モアルベキニ付諸給與等ニ關シテ  
ハ特ニ考慮スルコトニ研究ス
- 三 解員者中復歸ヲ命ゼラレタル者以外ニシテ復員輸送任務等  
ニ服務ヲ希望スル者ハ解員取消ノ上服務セシムルニ付士官ニ  
在リテハ海軍省人事局若クハ海軍人事部ニ特務士官准士官ニ  
在リテハ海軍人事部ニ下士官兵ニ在リテハ在籍鎮守府ノ海兵  
團ニ出頭セシム
- 四 正當ノ理由ナクシテ復歸セザル者ニ對シテハ相當ノ處分ニ  
附スル如ク研究ス

發 海軍次官

宛 各所屬長官、關係各所轄長

第二二二二四〇番電

内地未歸還軍屬（雇員、傭人、工傭員）ニ對スル身上、給與等  
ノ取扱ハ左ニ依ルコトニ定メラル

- 一 昭和十七年官房第一七一六號ニ該當スル特設廳勤務ノ軍屬  
ニ對スル派遣元廳閉廳後ノ身上取扱（歸還時ノ世話及解雇備、  
就職斡旋事務ヲ含ム）ハ當該廳在籍ノ所管鎮守府、警備府ノ  
人事部（第三課）所管鎮守府、警備府ナキモノハ海軍省人事  
局ニ於テ之ヲ引繼グモノトス
- 二 終戰時外地ニ出張中ノ軍屬ハ八月十五日附主タル用務ヲ有  
スル特設廳ニ轉雇備（身分變更セズ）スルモノトス
- 三 軍屬ニシテ應召又ハ徵集中在籍廳閉廳ノ際ハ之ヲ整理スル  
モノトシ右迄ノ期間給料ノ差額補給金ノ給付ハ之ヲ引繼グスル  
コト
- 四 前各號ニ該當スル者ノ給料等ノ家族下渡廳ハ海軍軍人軍屬  
俸給家族下渡規則第五條ノ區分ニ依ル

發 海軍省人事局長

宛 各所屬長官

第二三一七二五番電

外地所在專務囑託者及徵用員ノ解雇（徵用解除）ニ當リテハ解  
員ニ依リ内地歸着前本人並ニ家族ニ對シテ生活上困難ヲ生ゼザル  
様特別ノ考慮ヲ拂ハレ度

追テ現身分ノ儘内地歸着ノ者ニ付テハ歸着地ヲ管スル鎮守府  
等ニ於テ解員ノ手續ヲ代行セシメラル豫定

發 海軍省人事局長

宛 各鎮守府警備府司令長官、水路部長

0044

第二五一八一七番電

氣象竝ニ水路系勤務員中一括他省轉官者ヲ除ク爾餘ノ者ニ付テハ官房第一三一九四九番電一般文官解員要領ニ依リ處理相成度

發 海軍大臣

宛 各所屬長官

第二五二一〇一番電

船員動員令(舊船員徵用令ヲ含ム)ニ依リ海軍ニ徵用セル應徵船員ノ終戰處理ニ關シ左ノ通定ム

一方 針

(イ) 本人ノ希望アルモノハ船舶運營會ニ徵用變更ス

(ロ) 右以外ハ徵用解除ス但シ船舶運營會ヨリ徵用變更セル者ニ付テハ船舶運營會ニ復歸セシムル如ク指導スルモノトス

二 處理要領

(イ) 應徵船員ノ所屬廳長ハ所在地管轄ノ海運局又ハ海運監理部ニ船員動員令施行規則第一號書式ノ三別冊様式ニ依ル名簿(變更ト解除ト各別ニ作成ノコト)ヲ提出シ一括徵用變更令書又ハ一括徵用解除令書ヲ受領ノ上本人ニ其ノ旨傳達ス

(ロ) 徵用變更ノ者ニ對シテハ各所屬廳ハ最寄船舶運營會支部ニ連絡シ之ヲ引渡方取運ブモノトス

(ハ) 應徵船員徵用變更(解除)ニ際シテハ囑託者採用及報酬内規ニ依リ二級(部内限制任官待遇以下ノ者)ニ在リテハ三級トシ中間報酬額ノ者ハ上位額ニ繰上グ)以內報酬増額差

支ナシ

(ニ) 尙徵用變更又ハ解除ニ伴フ給與等ハ本年八月官房機密第三〇一八三一番電中囑託者ノ整理ニ伴フ給與等ニ準ズ

海人第一號ノ一三七

昭和二十年十月五日

海軍省人事局長

各所屬長官  
關係各所轄長 殿

解員關係令達等ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍省

宛 部内一般

第一三一八五五番電

准士官以上ハ解員後ニ於ケル現住所(變更ノトキハ其ノ都度)ヲ士官及豫備士官ニ在リテハ海軍省人事局ニ特務士官及准士官ニ在リテハ在籍領守府所在地ノ海軍人事局ニ速報スベシ但シ士官ニ在リテハ出身生徒學校名及期別ヲ豫備士官ニ在リテハ專修別ヲ併記スルコト

發 海軍大臣

宛 各領守府、大湊警備府、大阪警備府司令長官

第二〇一六〇四番電

今次復員輸送用艦艇ノ乘員ハ定員ニ拘ラズ通常航海(四直航海)

海軍公報 第五一九九號 昭和二十年十月八日

三三五

0045

及歸途收容人員ノ給與醫療等ニ必要ナル人員ヲ補充スルモノトシ現乘員ニテ不足スルトキハ當該艦船ノ所在海軍區ヲ管スル鎮守府(但シ第百六十號海防艦ハ舞鎮)ニ於テ處理スベシ

發 海軍大臣

宛 内地所在各所屬長官

第一一九一五〇五番電

内地所在各所屬長官終戰事務處理上必要ナル場合ニ於テハ海軍囑託者身上取扱規則及大東亞戰爭中囑託者採用等取扱特別ノ規定ニ拘ラズ左ニ依リ部内限委任官ヲ以テ待遇シ專ラ海軍ニ於テ勤務スル囑託者ヲ採用及解囑スルコトヲ得

- 一 本令ニ依リ採用ノ囑託者ハ之ヲ海軍臨時囑託ト稱ス
- 二 待遇及報酬額ノ決定ハ海軍囑託者待遇及報酬内規ニ據ル
- 三 部内限待遇官等ハ之ヲ付與セズ
- 四 辭令中待遇ハ「部内限委任官扱」トシ本省發令ニ依ル「部内限委任官待遇」者ト區別スルモノトス
- 五 臨時囑託者ノ勤務期間ハ六ヶ月以内トス
- 六 臨時囑託採用具申書様式ハ所屬長官所定トス
- 七 採用(解囑)報告ハ囑託者身上取扱規則第五(第六)様式ニ準ズ

發 海軍大臣

宛 各所屬長官、關係各廳長

第一一九一九四一番電

海軍官衙部隊學校ノ有報酬兼務囑託者(部外ニ本務ヲ有スル者)ニシテ昭和二十年八月十五日以降解囑セラレタルトキハ勤務年數三年以上ノ者ニ限り左ノ區分ニ基キ所屬長官ノ定ムル所ニ依リ特別報酬金ヲ支給スルコトヲ得  
勤務年數三年以上ノ者 報酬月額五ヶ月分以内  
同 十年以上ノ者 同 十ヶ月分以内

發 海軍省人事局長

宛 各所屬長官

第二〇〇九五〇番電

官房人機密第三〇一四〇一番電海軍文官終戰處理要領中高等文官ノ陞級ニ付左ニ該當スルモノハ二級陞級セシメラル  
一 高等官在職十五年以上ニシテ現級俸在職二年ヲ越エル者  
二 高等官在職二十年以上ニシテ現級俸在職一年半ヲ越エル者

發 海軍省軍務局長、海軍省人事局長

宛 部内一般

第一五二〇二六番電

復員者ニ對スル援護特ニ之等ノ就職斡旋ニ關シテハ充分ナル考慮ヲ拂ハルベキ處本件既設ノ軍事保護院軍人援護會ノ外海軍退職者ニ對シ共ノ職業輔導斡旋ヲ主目的トスル財團法人復員援護會(本部東京都芝區新橋七丁目十二番地關東信越軍需監督部事務所内)ヲ設立セラレタリ本會ニ於ケル斡旋ノ具體策ハ從來ノ個人別就職斡旋ノ外大量的ノモノトシテ集團農業、水産業、土

0046

木建築、輕工業、海運業等直營ノ腹案ナリ、本件ニ關シ所轄ノ現狀直チニ之ニ轉ジ得ルモノハ復員援護會ト連絡ノ上發足ノ準備進メラレ度、尙所轄ハ轉ジ得ザルモ現ニ保有スル農耕具漁具等ニシテ本會ノ事業運営ニツキ使用可能ノモノハ差當リ復員援護會ニ讓渡ノコトトシ至急連絡アリタシ

追テ右ニ關連シ將來外地ヨリノ歸還軍人ニ對スル身上取扱、歸着時ノ宿泊給食及被服、物品、糧食諸給料等ノ交付ハ歸還地ヲ管スル領守府ノ復員收容部(海兵團廢止後ハソノ殘務處理官廳)ニテ取扱フベキニツキ斯種物件ハ之ヲ本取扱廳ニ移管ノコトニ承知アリ度

發 海軍省軍務局長、海軍省人事局長  
宛 各領守府、各警備府參謀長

通報 各海軍人事部長、各地方海軍人事部長  
第二〇一六〇一番電

復員援護會支部ハ概ネ左ノ標準ニ依リ設置セラルル豫定ニ付配員及施設資材等然ル可ク準備セラレ度

- 一 札幌、仙臺、新潟、東京、名古屋、大阪、廣島、高松及福岡ニ夫々北海道、東北、北陸、關東、東海、近畿、中國、四國及九州方面各府縣ノ中樞トナルベキ方面支部(假稱)ヲ置ク
- 二 前記方面支部ノ下ニ左ノ地ニ地方支部(假稱)ヲ置ク  
(北海道) 函館、釧路  
(東北) 青森、秋田、盛岡、福島、山形

海軍公報 第五一九九號 昭和二十年十月八日

- (北陸) 富山、金澤、福井、舞鶴
  - (東海) 靜岡、岐阜、津
  - (近畿) 大津、京都、奈良、和歌山、神戸
  - (中國) 岡山、鳥取、松江、山口、吳
  - (四國) 德島、松山、高知
  - (九州) 大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿兒島、佐世保
  - (關東) 水戸、宇都宮、前橋、甲府、橫須賀、長野
- 尙千葉縣、埼玉縣ノ地方支部事務ハ關東方面支部ニテ行フ
- 三 方面支部ニハ士官級十五、特准級八、下士官兵級十五、理事生數共ノ他約十、計約四十八名ヲ配ス
- 四 地方支部ニハ士官級五、特准級三、下士官兵十五、理事生數共ノ他六、計約二十九名ヲ配ス
- 五 施設資材ノ整備及特准以下ノ配員ハ徵募管區分擔ニヨリ領守府、警備府ニ於テ之ヲ行ヒ施設ハ極力地方人事ヲ利用ス
- 六 右ニ要スル費用ハ海仁會等ヨリ借用支辨ス

醫務機密第一九三號ノ二

昭和二十年九月十日

海軍省醫務局長

海軍省總隊醫長  
各領守府、各警備府、各艦隊軍醫長  
海軍技術研究所醫務部長  
海軍兵學校、海軍經理學校、海軍醫學校、海軍醫士官  
海上護衛總司令部附屬醫科士官

三三七

0047

醫務書類ノ處理ニ關スル件通牒

自今醫務書類ハ左ニ依リ處理セラレ度

- 一 病院業務及診療業務ニ必要ナル書類ハ從來通調製ノコト  
追テ部外委託關係ハ從來通處理スルモノトシ尙別紙第一乃至第三様式ノ書類ヲ醫務局長宛送付スルコト右以外ノ前記  
醫務書類ニ關シテハ特ニ提出又ハ送付スルニ及バズ調製保  
管シ置クニ止ルムコト
- 二 恩典關係書類ノ調製進達ハ此ノ際極力促進スルコト
- 三 前二號以外ノ醫務書類ハ各廳ニ於テ特ニ必要アルモノヲ除  
キ自今調製スルニ及バズ
- 四 特ニ報告又ハ連絡ヲ要スル事項ニ就テハ其ノ都度電話、電  
報若ハ口頭等ニ依リ處理スルコト

(様式添)

0048



入院患者報告								月	日	現在
種 別 官 階 別	入 院 患 者 總 數	戰 傷	戰 病	患 者 内 譯				空 床 數		
				外 傷	傳 染 病	結 核 病	其 ノ 他			
									外	傳
准士官以上	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
下士官兵	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
其ノ他	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
合 計	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			

(醫務機密第一九三號ノ二第一様式)

(昭和三十年十月八日海軍公報)

備考 毎月 1 日 15 日現在ニ付報告ノコト

( ) 内ハ再入院患者數ヲ記入ノコト

0049

(醫務機密第一九三號ノ二第二様式)

後送患者收容報告(自九月一日至九月十五日)

(昭和二十年十月八日海軍公報)

昭和 年 月 日

何海軍病院長 何

某®

合 計	戰 病	戰 傷	官階		計 記 事
			准士官以上	下士官兵	

備考

一時ニ多數收容ノ場合ハ其ノ都度其ノ他ハ毎月十六―三十一日ニ同報告スルコト

0050

海軍公報 第五二〇〇號

昭和二十年十月九日(火)  
海軍大臣官房

○通 牒

經給第一四〇號

昭和二十年十月六日

海軍省經理局長

各所屬長官  
關係各廳長 殿

軍人軍屬ノ解員又ハ整理及之ニ伴フ給與等ニ  
關スル令達申進等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ現在迄ニ發布セラレタル令達申進等左ノ通

發 海軍省經理局長

宛 支出官、資金前渡官吏(内地所在ノミ)

第二五一〇四七番電

退職賞與支給ノ際現金ニ代ヘ交付スル預金證、  
書ノ件

退職賞與支給ノ際現金ニ代ヘ銀行定期預金證書ヲ交付スル場合  
ハ一口總額百圓以上ノ場合ニ限り預金額ニ百圓未滿ハ端數ヲ付  
シ差支ナキコトニ大藏省ト協定済ニ付預入銀行ト連絡ヲ取り可  
然取計ハレ度

尙大藏省ヨリハ各銀行ニ對シ別途右ノ趣旨通牒ノコトニ取計  
ラヒ濟爲念

海軍公報 第五二〇〇號 昭和二十年十月九日

發 海軍省經理局長

宛 内地各所轄長

第二九一〇三〇番電

解員又ハ整理セラレタル者ノ殘留スル場合ノ  
給與ノ件

解員(豫備役編入ヲ含ム以下同ジ)セラレタル者ヲ殘務處理ノ  
爲殘留セシムルモ俸給等諸給與及戰時食料ハ解員辭令ノ月ヲ含  
ミ三分ヲ超エ支給スル限リニ非ラサル義ト了知相成度

發 海軍省經理局長第二課長

宛 海南海軍經理部長

第二九一九五六番電

臺灣人タル雇傭工員ノ解員手當ノ件

第二六二三四三番電返

現地解雇傭ノ際本年八月機密第二二二二五番電ニ依ル退職賞  
與支給差支ナシ

註

機密第二二二二五番電ハ整理ニ伴フ雇傭工員ニ退職賞與  
等支給ニ關スル件ナリ

海軍公報 第五二〇二號

昭和二十年十月十一日(木)  
海軍大臣官房

○令 達

達第一七八號

大正五年達第三八號海軍省處務規程中左ノ通改正ス

昭和二十年十月十日

海軍大臣

第十六條第十四號及第三十條第四號ヲ削リ各以下順次繰上グ

官房經第四九七號

昭和十九年官房經第五二八號左ノ通改正ス

昭和二十年十月十日

海軍大臣

企業整備資金措置法第三條及臨時資金調整法第十條ノ二(臨時資金調整法施行令第九條ノ六)ノ規定ニ依ル政府金錢債務ノ特殊決濟ノ手續ハ企業整備資金措置法施行規則(以下單ニ規則ト稱ス)、昭和十八年大藏省令第六十號政府金錢債務特殊決濟事務取扱規則及昭和十九年大藏省令第一號臨時資金調整法第十條ノ二ノ規定ニ依ル特殊決濟ニ關スル件(以下單ニ特殊決濟ニ關スル件ト稱ス)ノ定ムル所ニ依ルノ外左ノ各號ニ依ルベシ

海軍公報 第五二〇二號 昭和二十年十月十一日

リノ政府借入金ト爲スベキトキハ政府特殊借入金ニ關スル資料ヲ調整シ支出官ニ送付スベシ

二 支出官前號ノ書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ審査ノ上規則第二條(特殊決濟ニ關スル件)第二條ニ於テ準用スル場合ヲ含ムノ規定ニ依ル手續ヲ爲スト共ニ之ヲ契約擔任官ニ通知スベシ但シ大藏大臣ニ送付スベキ政府特殊借入金借入請求書ハ三通作製シ前號ノ書類ト共ニ之ヲ海軍省經理局長ニ送付スベシ

三 契約擔任官債主ニ對スル支拂金ノ全部又ハ一部ヲ債主ノ特殊預金又ハ債主ヲ信託者及受益者トスル特殊金錢信託ト爲スベキトハ規則第四條(特殊決濟ニ關スル件)第二條ニ於テ準用スル場合ヲ含ムノ規定ニ依ル特殊預金又ハ特殊金錢信託命令書案ヲ作製シ之ヲ支出官又ハ資金前渡官吏ニ移牒シ支出官又ハ資金前渡官吏ハ規則第四條(特殊決濟ニ關スル件)第二條ニ於テ準用スル場合ヲ含ムノ規定ニ依リ處理スベシ

四 實施ノ細目ニ關シテハ海軍省經理局長ヲシテ通牒セシム

五 徵用ニ因ル補償金債務ニ付テハ前各號ニ準ジ處理スルモノトス

(參照) 昭和十九年官房經第五二八號ハ企業整備資金措置

法ニ關スル件ナリ(海軍會計法規類集四卷四二二ノ一〇頁)

官房法第九號

左ニ掲グル官房號ハ之ヲ廢止ス

昭和二十年十月十日

海軍大臣

昭和十三年官房第三九三四號軍機保護法及同施行規則中民事、刑事ノ檢證ニ關スル件

昭和十五年官房第一二二〇號軍機保護法施行規則ニ關スル件

昭和三年官房機密第一一〇〇號ノ二思想善導取締ニ關スル件

昭和三年官房機密第一一四四號思想善導取締ニ關スル件

昭和四年官房機密第一一六三號思想調查委員會規程

○通牒

經豫第三號ノ一一六

昭和二十年十月四日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

支出官、歳入徴收官廢止ニ伴フ殘務整理ノ件

通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍省經理局長

宛 關係各廳長

第〇四二二二番電

經理部、經理局以外ノ廳ニ於ケル支出官及歳入徴收官ノ廢止ニ關シテハ既報ノ通十月十五日以降要スレバ新支出官又ハ新歳入徴收官所屬ノ資金前渡官吏又ハ收入官吏ヲ設置セシメラルルモ舊支出官又ハ舊歳入徴收官ノ殘務ニ限り引續キ同官ノ名儀ヲ以テ處理差支ナキニ付當該廳ノ廢廳前可及的速ニ殘務整理ヲ完了セラレ度

經豫第三號ノ一一七

昭和二十年十月十日

海軍省經理局長

各支出官契約擔任者殿

企業整備資金措置法第三條ノ規定ニ依ル特殊

決濟ノ實施細目ノ件中改正ノ件通牒

昭和十八年經物第一四二號通牒首題ノ件中「第三條」ヲ「等」ニ改メ第三號中「金額ハ」ノ下ニ「特ニ定メラルルモノノ外」ヲ加フ

(参照) 海軍會計法規類集四卷四二二ノ一一頁

0053

# 海軍公報

第五二〇三號

昭和二十年十月十二日(金)  
海軍大臣官房

### ○令 達

官房第四五七號  
來十七日神嘗祭ニ付當日左ノ通心得ベシ

昭和二十年十月十一日

海 軍 大 臣

一 參集スベキ者

(イ) 親任官

(ロ) 勅任官同待遇總代一人

二 時刻場所

午前九時三十分 賢所參集所

三 服 裝

第一種軍裝 略綬

### ○通 牒

軍務第一九二號

昭和二十年十月十二日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

艦船ヲ以テスル在外地軍官民内地還送計畫左ノ通

第一方 針

艦船ノ成ル可ク多數ヲ以テ速ニ在外部隊並ニ官民ノ引揚希望者  
ヲ内地ニ還送スルト共ニ所要ノ糧食、被服、治療品等ヲ前送ス  
之方爲

一 使用艦船及乗員ノ指揮ハ海軍大臣之ヲ掌リ在籍鎮守府警備  
府司令長官ハ海軍大臣ノ命ニ依リ直接ノ指揮ヲ掌ルモノトス  
鎮守府警備府司令長官ハ管轄港灣ニ在泊スル艦艇ニ對シ其ノ  
出動準備、揚搭作業等ニ關シ之ヲ指揮ス

二 商船ヲ以テスル還送計畫ト緊密ナル連繫ヲ保チ還送ノ萬全  
ヲ期ス

三 使用艦船ハ差當リ帝國艦船特別輸送艦船ト呼稱ス乗員ハ帝  
國海軍軍人又ハ軍屬トス

四 還送長期ニ亘ル場合ニハ右ノ指揮系統及資格ヲ變更セラル  
ル事アリ

### 第二要 領

一 配 船

(イ) 聯合國側ノ要請ニ依リ行動半徑七五〇浬以上ノ艦船中四

〇%ヲ菲島ニ其他ヲ南方方面ニ差當リ使用ス

(ロ) 南方方面配船順位左ノ通

(一) 病院及醫療施設ナキ地域

(二) 自活困難ナル地域

(三) 南洋諸島及「ラポール」方面

- (イ) 燃料及需品
  - (一) 内地ニ於ケル重油補給ハ横須賀、吳、佐世保ニ於テ米國海軍ヨリ受ク
  - (二) 外地ニ於ケル補給ハ「ガム」又ハ「ウルシー」「マニラ」「エヌエック」「タクロバン」ニ於テ米國海軍ヨリ受ク
  - (三) 石炭補給ハ内地ニ於テ米國海軍ノ許可ヲ得テ之ヲ行フ
- (ロ) 潤滑油類ノ補給ハ右ニ準ズ
- (ハ) 燃料補給計畫 別紙第二ノ通
- (ニ) 需品搭載標準 別紙第三ノ通
- (ヘ) 被服
  - (一) 各艦船ハ收容豫定員數ニ對スル分ヲ搭載ス但シ海軍軍人以外ノ收容員ニ對シテモ準備スルモノトス
  - (二) 糧食
- (ホ) 各艦船ハ收容員乗艦中ノ所要量及現地殘留者(離島等糧食ノ調達困難ナル地域ノモノ)分約三ヶ月分ヲ搭載ス

- (イ) 治療品
  - (一) 概ネ三ヶ月分ヲ搭載ス
  - (二) 治療品搭載標準 別紙第四ノ通
  - (ホ) 戰給品其ノ他
    - (イ) 酒保物品ハ從來ノ取扱ヲ止メ戰給品トシテ搭載ス
    - (ロ) 其他ノ出動準備
    - (ハ) 乘員ハ四直交代可能ナル如ク配員スルヲ立前トス
    - (ニ) 小艦船ト雖モ醫務關係員ヲ配員ス
    - (ヘ) 修理ハ通常航海ニ支障ナキヲ自途トシ各鎮守府、警守府ニ於テ實施スルヲ立前トス要スレバ中央ヨリ指令ス
    - (ホ) 内地ニ於テハ米軍管理下ニ在ル造修施設及資材ヲ修理ノ爲使用スルコトヲ得但シ右ノ場合ニハ米國第五艦隊司令長官又ハ其ノ指令スル代表者ノ許可ヲ得ルモノトス
    - (ト) 外地ニ於テハ米國ノ海軍造修施設ニ必要最小限度ノ修理ヲ申出ルコトヲ得
    - (ニ) 經費ハ海軍戰時特例給與規則適用ニ依ル所要額ヲ準備ス
    - (ホ) 標識ハ各艦艇艦尾ニ「日の丸」大樁ニ「E」旗ノ端ヲ三角ニ切取リタル燕尾旗ヲ掲揚シ夜間ハ航海諸燈ヲ點ズ
    - (ト) 乘員ハ差シ當リ制服ヲ着用シ艦内ノ服務紀律ハ從來通トシ艦船長之ヲ定ム
  - (チ) 郵便物ハ最寄郵便局ト連絡シ極力多數搭載ス
  - (イ) 新聞、雜誌其他ハ艦船長所定ニ依リ極力搭載ス
- 四 運 航
  - (イ) 第一回出港地ハ現所在港灣トシ人員收容後ハ特令ナキ限

リ左ノ港灣ニ歸投ス

(一) 中部太平洋及南東方面行動艦船ハ久里濱(情況ニ依リ浦賀)

(二) 非島、臺灣、南支、南西方面行動艦船ハ宇品、吳

(三) 南鮮及北中支方面行動艦船ハ關門(情況ニ依リ博多、仙崎)

(四) 北詳方面行動艦船ハ舞鶴

(五) 千島、樺太方面行動艦船ハ大湊

(註)

(イ) 收容人員ノ本籍地等ヲ考慮シ右ヲ變更スルコトアリ

(ロ) 各艦船ハ歸投地ニ於テ檢疫ヲ實施スル如ク準備スルモノトス

(ハ) 第二回以後ノ出動準備及各種補給ハ極力右歸投地ニ於テ實施スルヲ立前トス

(ニ) 運航計畫ノ大綱ハ海軍省ニ於テ之ヲ計畫ス各鎮守府警備府ニ於テハ實施ノ細項ヲ定メ之ヲ中央ニ報告スルモノトス中央ハ右ノ細項ニ依リ米海軍ニ運航承認ヲ求メ出動ヲ指令ス

(ホ) 從來承認船ノ行動殆ンド豫定ヨリ遅延セル情況ニ鑑ミ關係各部ハ緊密ナル連絡ヲ保持シ出來得ル限り正確ナル豫定ヲ確立シ承認ニ要スル餘裕ヲ考慮シ可成早日ニ行動豫定ヲ報告シ一度承認ヲ得タル後ハ之ヲ變更セザル様努ムルモノトス

(ヘ) 艦船收容地ヲ出港スルニ當リテハ速ニ左記ヲ海軍大臣及

關係鎮守府、警備府司令長官竝ニ關係各部ニ報告通報スルモノトス

(一) 歸投豫定日時及地點

(二) 收容總員數

(三) 海陸軍及官民別員數

(四) 右別ニ依ル要入院患者員數

(五) 右別ニ依ル殘留員數及現地ノ狀況

(六) 其他必要ナル事項

(ト) 各艦船長ハ現地ノ狀況ニ依リ緊急措置ヲ必要ト認メタル場合當該方面小島嶼ヲ補給及引揚ヲ行フ事ヲ得

(チ) 修理等ノ爲次期行動ニ支障アリト認ムル場合ニハ成ル可ク速ニ之ヲ關係各部ニ報告通報スルモノトス

五 雜 件

(イ) 儀禮ハ戰時中ニ準ズ但外國海軍艦船ニ對シテハ國旗半下ノ禮ヲ行フ

(ロ) 訪問ハ戰時中ニ準ズ但聯合國側ニ對シテハ我方ヨリ訪問ス

(ハ) 外地ノ上陸ニ關シテハ當該地聯合國最高指揮官ト連絡ノ上艦船長之ヲ定ム

(ホ) 乘員ノ人事取扱ハ從來通トス

(ニ) 海軍省軍務局ニ艦船運航班ヲ設置シ本關係業務ヲ處理ス

第三 通 信

一 各艦船ハ發着電報及必要事項ヲ在籍鎮守府、警備府及海軍省(軍務局長)竝ニ所要ノ向ニ平文ヲ以テ報告ス

海軍公報 第五二〇三號 昭和二十年十月十二日

三四七



- 二 艦船通信ハ左ノ外海軍通信規程ニ依リ實施ス
- 三 艦船ハ地方艦船通信系又ハ地方通信系ニ屬シ通信ス但シ集團行動スル場合ハ關係各部ニ通報ノ上無線代表艦ヲ置クコトヲ得
- 四 艦船ハ東京第二放送(電波三九kc、四六三〇kc、九二六〇kc、一三八九〇kc、一八五二〇kc)ヲ常時待受スルモノトス此ノ場合自己宛電報ヲ受信セル場合ハ地方艦船通信系(地方通信系)電波ヲ以テ所屬中樞通信隊ニ對シ直ニ直了又ハ再放送要求ヲ行フモノトス
- 五 通信系中樞通信隊(通信機關以下同類)通信電波、通信法等左ノ通
  - (イ) 通信系中樞通信隊通信電波
    - (一) 第一地方艦船通信系、東京、父島、大阪、吳三九五二・五kc(カ一〇四)七九〇五kc(カ二〇四)
    - (二) 第二地方艦船通信系、大湊(稚内)、舞鶴、鎮海、旅順四〇一五kc(カ一〇五)八〇三〇kc(カ二〇五)
    - (三) 第三地方艦船通信系、佐世保、上海、高雄、馬公、海南四三九〇kc(カ一一一)八七八〇kc(カ二一一)
    - (四) 南東方面ハ夫々四通、八通、地方通信系ニ依ル現用電波ハ四通、八通ヲシテ後報セシム
    - (五) 十方面艦隊西方部隊系(第五地方艦船通信系)西貢、セレター四六九七・五kc(カ一一〇)九三九五kc(カ二二〇)
    - (六) 十方面艦隊東印部隊系(第六地方艦船通信系)二十一

- 通、二十四通、其ノ他二南遣艦隊所定三八二五kc(カ一〇六)七六五〇kc(カ二〇六)
- (七) 三通、三十一通、三十二通ニ對スル通信ハ夫々東京、高雄、二十一通經由トスル外其ノ都度現地協定トス
- (ハ) 通信時間
  - (一) 艦船行動豫報アリタル場合關係通信系各中樞通信隊常時
  - (二) 艦船送信隨時、待受、每奇數時ノ始メ十五分間通信法
  - (三) 艦船ハ毎時所定待受時間中電報ノ有無ニ拘ラズ中樞通信隊ニ對シ連絡確保ニ努ムルモノトス
  - (四) 艦船電報ヲ有スル場合ハ隨時送信スルモノトス
  - (五) 各中樞通信隊ハ同一系内ニ於テ通信不如意ノ情況ヲ察知セル場合ハ直ニ之方中樞ニ任ズルモノトス
  - (六) 艦船行動スル場合ハ通信系出入豫定時刻及同一系内中樞通信隊ニ對スル所屬豫定時刻ヲ豫メ關係各部ニ報告通報スルモノトス
  - (七) 艦船ハ出入港前後ニハ必ず最寄(横須賀ニ在リテハ東京)通信隊ニ通信長職務執行者ヲ出頭セシメ通信實施ノ打合ヲ行フモノトス
- 着信者及發信者ハ呼出符號ヲ本文ハ平文ヲ使用ス
- 使用呼出符號書「呼出符號書乙一」
- 第四 在外軍官民ノ狀況及指導
- 在外軍官民總數左ノ通

方 面	陸軍	海軍	送送スベ	合計
			民	
比 島	万	万	万	万
現(難)地自活不能(困)	5,1	6,2	5,5	16,8
ニューギニヤ	4,2	0,1	0	4,3
南東方面 (陸ラバツル)	2,4	2,1	0	4,5
中部太平洋 沖 繩	5,8	8,0	3,0	16,8
支那	3,3	0,2	0	3,5
朝鮮	25,4	1,6	70,0	97,0
小笠原諸島	2,0	1,5	0	3,5
支那	95,6	1,7	47,0	144,3
支那	12,3	1,7	18,0	27,0
滿洲	70,0	0	100,0	70,0
千 島	4,3	1,0	0,4	4,9
樺 太	1,9	0	48,0	4,9
ラバツル	8,1	5,5	0	13,6
南西方面 (陸非島)	71,2	15,0	9,5	95,7
臺灣	20,0	3,5	50,0	73,5
合 計	331,6	48,1	341,4	721,1

二 現地ノ治安及生活状況憂慮ニ耐エザルモノアリ  
 三 引揚順序ハ現地ノ治安、氣候、生活事情等ヲ勘案シ之ヲ定ムルモ當該地區ニ於テハ患者、老幼婦女子ヲ先ニシテ現地帝國最高指揮官所在聯合國最高指揮官ト連絡ノ上之ヲ定ムルモノトス  
 四 外地ノ使用港灣ハ一應左ノ如ク豫定シ之ニ應ズル如ク鐵道及現地所在ノ我方船舶等ヲ利用シ引揚船到着迄ニ當該港灣ニ逐次集結セシムルモノトス  
 朝鮮 釜山、麗水、羅津、清津、元山、鎮南、興南、多  
 獅島

海軍公報 第五〇三號 昭和二十年十月十二日

滿洲 大連(在滿洲部隊及邦人ハ北朝鮮ノ状況ニ依リテハ南朝鮮港灣ヲ使用ス)  
 北支 塘沽、青島、連雲  
 中支 南京、漢口、上海  
 南支 廣東(黃埔)、香港、汕頭、海口、榆林  
 南西 「ハイフオン」「サイゴン」「バンコック」「シンガポール」「バタビヤ」「スラバヤ」「マノクワリ」「ソロン」「ハルマヘラ」「マカツサル」「アンボン」「ゲイ」「メナド」「サマリンダ」  
 樺太 大泊、惠須取  
 臺灣 基隆、高雄  
 五 各艦船長ハ歸還ノ途中收容員ニ對シ終戦ニ際シ賜ハリタル詔書及軍人ニ賜ハリタル勅語ヲ衍義シ國內情況乃至今後ノ心懸ニ關シ教育ヲ行フモノトス  
 六 艦船歸港灣ニ到着セバ檢疫ヲ了シ收容員ヲ當該港灣ノ復員收容部ニ引渡スモノトス  
 右以外ノ地域及患者輸送船ノ使用港灣ハ狀況ニ應ジ逐次定ム  
 (別表添)

各 艦 長 殿

海軍省軍務局長

軍務一第一九四號  
 昭和二十年十月五日

刀劍處理ニ關スル件申進  
首題ノ件ニ關シテハ左記事項參照ノ上各部又ハ各人ニ於テ可然  
處理相成度

記

一 現役軍人ノ刀劍處理ニ關シ聯合國最高司令部ヨリ帝國陸海  
軍宛通告左ノ如シ

通告第一 日本軍人ノ刀劍方關係將校ノ私有品ナル時ハ爾後  
ノ軍事上ノ意義ヲ有セズ家財ト言フ名義ニテ保有差支ナキモ  
ノトス官給ノ刀劍ニシテ官品ニ屬スルモノハ他ノ兵器ト同  
様ノ取扱ヲ受クベキモノトス

通告第二 「通告第一」ニ依リ個人所有ノ刀劍保有ヲ認許シ  
タルトコロ日本國民ハ右ヲ以テ將來ニ於テ或種ノ封建的軍  
國主義ノ復活ヲ可能ナラシムル證左ナリト曲解シアルコト  
ヲ知レリ右ノ考ヘハ聯合國諸國ニ取リ許シ難キモノナリ依ツ  
テ遺憾ナガラ茲ニ先ノ指令ヲ取消シ且ツ個人所有ノモノヲ  
含ム一切ノ刀劍ヲ軍國主義ノ象徴トシテ取扱ヒ一切ノ他ノ  
武器ト共ニ破棄スルヲ要求ス  
(軍務局註) 破棄トハ必ズシモ現實ニ破壞スルヲ意味セズ  
之ヲ軍刀トシテ使用スルヲ止メ適宜保管ノ上爾後處理ハ  
聯合國側ノ要望ヲ俟ツコトトスル程度ニテ可ナリト認ム  
二 豫備役軍人ノ刀劍處理ニ關シ武器引渡命令ニ對スル緊急措  
置トシテ內務省警保局長ヨリ地方長官ニ對シ依命通牒セル内  
容中刀劍關係事項左ノ如シ

(イ) 提出セシムベキ刀劍ハ軍刀、指揮刀、銃劍ノ類其ノ他一  
般刀劍トシテ刃渡九寸五分以下ノ匕首ノ類ヲ除クコト美術的  
骨董的價值アル刀劍ハ警察署ニ登録シ提出ノ用意ヲナスニ  
止メ中央ヨリ改メテ指示アル迄一應蒐集ヲ見合スコト

(ニ)(ハ)(ロ) 提出期日、昭和二十年十月十日  
提出場所 所轄警察署  
陸海軍將校、警察、消防官吏、刑務官吏等服制ニ依リ職  
務上之ヲ所持スル者ハ提出ノ要ナキモノトス但シ轉官退職  
失官等ニ依リ職務上所持スル必要止ミタル時ハ直ニ之ヲ提  
出セシムルモノトス

(ホ) 在郷將校ニ對シテハ失官セザル限り其ノ所持スル軍裝用  
私物刀劍、拳銃等ハ本措置ニ依リ警察ニ於テ強制スルハ妥  
當ナラザルヲ以テ此ノ機會ニ於テ特ニ憲兵隊等トモ連絡ヲ  
採リ懇切説得シ進ンデ提出スル様配意スルコト

○雜 談

○總代  
來十七日神嘗祭ニ付勅任官同待遇總代トシテ當日賢所參集所ニ  
參集スベキ者左記ニ指定セラレタリ

海軍主計中將 爲本博篤

記

艦種	艦名	所在	行先	歸投地	記	事
巡洋艦	鹿島	吳	先島諸	浦賀		
同	八雲	同	先島諸	浦賀		
同	酒匂	舞鶴	先島諸	浦賀		
母艦	鳳翔	吳	先島諸	浦賀		
敷設艦	箕面	同	先島諸	浦賀		
驅逐艦	夕風	同	南鮮	浦賀		
同	夕風	同	同	浦賀		
同	波風	同	ガム	浦賀		
同	春月	同	比島	浦賀		
同	夏月	同	同	浦賀		
同	宵月	同	同	浦賀		
同	桐	同	同	浦賀		
同	杉	同	同	浦賀		
同	楨	同	同	浦賀		
同	楪	同	同	浦賀		
同	楓	同	同	浦賀		
同	椿	同	同	浦賀		
同	萩	同	同	浦賀		
同	蔦	同	同	浦賀		
同	椿	同	同	浦賀		
同	花月	同	比島	浦賀		
同	神風	舞鶴				現地輸送
同	櫻	舞鶴				
同	初櫻	舞鶴				
海防艦	古守	舞鶴	クサイ	浦賀		
同	探偵	同	比島	浦賀		
同	國後	同	マロエ	浦賀		
同	奄美	同	ゼウツ	浦賀		
同	伊王	同	比島	浦賀		
同	五五	同	同	浦賀		
同	七七	同	同	浦賀		
同	八一	同	同	浦賀		
同	八七	同	同	浦賀		
同	一五八	同	同	浦賀		
同	一五〇	同	同	浦賀		
同	二〇五	同	同	浦賀		
同	二〇七	同	同	浦賀		
同	三六	同	同	浦賀		
同	三四	同	同	浦賀		
同	三馬	同	同	浦賀		
同	對馬	同	同	浦賀		
同	金輪	同	同	浦賀		
同	二二五	同	同	浦賀		
同	二二五	同	同	浦賀		
同	二三七	同	同	浦賀		
同	三二	同	同	浦賀		
同	四四	同	同	浦賀		
同	四四	同	同	浦賀		
同	五二	同	同	浦賀		
同	六〇	同	同	浦賀		
同	一八八	同	同	浦賀		
同	一九四	同	同	浦賀		
同	福江	同	同	浦賀		
同	保高	同	同	浦賀		
同	羽節	同	同	浦賀		

0060

海軍公報 第五二〇四號

昭和二十年十月十三日(土)  
海軍大臣官房

○通牒

官房第四七四號

昭和二十年十月十二日

海軍省副官

關係各部殿

聯合軍ヨリ戰史資料聽取ノ目的ヲ以テ召喚セラルル諸官ノ行動ニ關スル件照會

聯合軍各司令部ヨリスル戰史資料聽取ノ目的トスルモノト認めラルル海軍士官ノ召喚最近頗ニ頻繁トナリアル所本省トシテハ中村少將ヲ經由シタルモノニ限り正式ニ取扱フコトト定メラレ候

右ノ場合指名ノ諸官ハ豫メ戰資料蒐集委員會(目黒海軍大學校)ニ於テ打合ノ上資料提供ノ正鵠ヲ期セラルト共ニ聯合軍側トノ用濟後モ同委員會ニ出頭事後連絡ヲ爲シ置カレ度尙旅費支出等部内連絡及對聯合軍側連絡ノ關係有之ヲ以テ聯合軍側ヘ出頭ノ前後軍務局第一課及中村少將(日本俱樂部)ノ許ニモ立寄ラレ度候

經給第一四二號

昭和二十年十月十日

海軍公報 第五二〇四號 昭和二十年十月十三日

各所屬廳長官殿

海軍省經理局長

軍人軍屬ノ解員又ハ整理及之ニ件ヲ給與等ニ關スル令達申進等ニ關スル件通知  
首題ノ件ニ關シ現在迄ニ發布セラレタル令達申進等左ノ通

發 海軍省經理局長

宛 各所屬廳長官、關係各所轄長(内地所在ノミ)

第〇二一七三番電

解員ヲ取消サレ再ビ配置ニ就キタル軍人ノ給與取扱ノ件  
與取扱ノ件

解員ヲ取消サレ再ビ部内ノ配置ニ就キタル軍人ノ給與取扱ハ左ニ依ルコトニ定メラル  
一 解員ノ際支給シタル俸給等(家族下渡ノ分ヲ含ム)ノ三月分以内ノ前金拂額ハ返納セシムルコトヲ現行規定ニ依リ新勤務廳ニ付定ムル給與ヲ以テ精算スルト共ニ新勤務廳ノ給與ヲ繼續支給シ用務終了解員ノ際解員ノ月ヲ含ミ俸給等ノ三月分以内ノ前金拂ヲ爲スモノトス  
二 配置ニ就ク爲旅行ヲ爲シタルトキハ居住地出發ノ日ヨリ新勤務廳到着ノ日迄出張ノ例ニ依リ旅費ヲ支給ス

三 解員ニ伴ヒ支給シタル退職賞與、被服、糧食及戰時特別給與品ハ返納セシムルコトナク川務終了解員ノ際ハ再ビ之ヲ支給スルコトナシ但シ歸郷旅行ニ要スル辨當及復員乘車證明書ハ再度支給ス

四 俵給等ノ家族渡ヲ希望スル者ハ解員ノ際前金拂(家族渡トシテ前金拂ヲ受ケタル場合ヲ含ム)ヲ受ケタル月ノ翌月分以降ノ俵給等ニ付家族下渡願ニ對シ新ニ家族渡請求ノ手續ヲ行フモノトス

發 海軍省人事局長、海軍省經理局長

宛 關係各廳長(内地、朝鮮、臺灣ノミ)

第〇四一八三五番電

經理局及經理部以外ノ家族渡事務ヲ經理部ニ統合ノ件

經理局及經理部以外ノ俵給家族下渡廳廢廳ト爲リ又ハ定員ヲ置カレザルニ至リタルトキハ家族渡事務ハ其ノ必要ノ關係人員ト共ニ之ヲ所管ノ經理部ニ統合スルコトニ定メラレタルニ付可然取計ハレ度

發 海軍省經理局長

宛 各經理部長、復員收容部長

第〇六一七三一番電

復員收容部ノ給與ノ件

海軍復員收容部勤務者ノ給與ニ關シテハ海兵團勤務者ニ付定ム

ル規定ヲ準用スルコトニ定メラル

(本年官房第四四四號海軍復員收容部規程第六條參照)

○ 雜 款

○ 移轉

十月六日日本府事務所ヲ左記ニ移轉セリ

記

名古屋市東區白蠟町二丁目二番地

舊名古屋水交社内

(名古屋在勤海軍武官府)

○ 殘務整理ニ關スル件

昭和二十年十月十日附海軍總隊司令部及聯合艦隊司令部ニ定員ヲ置カレザルコトトナリタル處同司令部ニ於ケル布告關係及殘務整理ヲ左記ノ者ニ指定セラル

記

海軍省人事局氣付

海軍少佐 中川 俊

(海軍總隊司令部)

0062

# 海軍公報 第五二〇五號

昭和二十年十月十五日(月)  
海軍大臣官房

### ○令 達

官房第四七七號

俘虜虐待者査問委員會規程中左ノ通改正ス

昭和二十年十月十二日

海軍大臣

第二條委員ノ部中「終戦委員會第七分科會委員」ヲ

「終戦委員會第七分科會委員」ニ改ム

第八條 委員長ハ必要ニ應ジ前條以外ノ職員ヲシテ委員ヲ輔佐

セシムルコトヲ得

(昭和二十年九月二十七日海軍公報參照)

### ○通 牒

官房醫第一二〇號

昭和二十年十月十五日

海軍次官

各鎮守府司令長官  
大湊警備府司令長官  
大阪警備府司令長官 殿

海軍病院軍事保護院移管後ニ於ケル患者ノ取扱等ニ關スル件申進

内地各海軍病院ハ海軍解消ノ日ヲ以テ軍事保護院ニ移管セシメラルル豫定ナル處首題ノ件ニ關シ今般左記ノ通軍事保護院ト協定致候條可然取計相成度

追テ一 本年九月二十一日官房醫第一〇八號申進ハ自然消滅ノ儀了了知相成度

二 海軍病院中情況ニ依リ海軍解消以前ノ時期ニ於テ軍事保護院ニ移管セラルルモノアリタル場合ノ海軍各部患者ノ送院、通療及治療品補給ニ關シテハ第二號ニ準ズルモノトス但シ此ノ場合部外依託ノ手續ヲ要セズ

### 記

一 海軍病院在院患者ハ海軍病院軍事保護院ニ移管ノ際ハ同軍事保護院病院ノ入院患者トシテ引續キ治療ヲ繼續セラルルモノトス

二 海軍解消後ニ於ケル殘存各部(掃海及歸還輸送關係者、外地ヨリノ歸還者ヲ含ム)ノ患者ハ軍事保護院病院ニ送院又ハ通療セシムルモノトス  
前項ノ殘存各部ハ必要ニ應ジ最寄軍事保護院病院ヨリ治療品ノ補給ヲ受クルモノトス

### ○雜 談

0063

「桐野健六」ノ誤

○南方政務部廢止ニ關スル件  
 南方政務部委員會組織ハ十月十五日附廢止セラレ  
 關係事務移管先左ノ通

南方施策ニ關スル事項 軍務局第二課  
 軍政職員人事身上ニ關スル事項 人事局第一課  
 軍政職員給與ニ關スル事項 經理局第三課  
 南方海軍主擔任地域産業經濟ニ關スル事項  
 (外務省管理局第四部第二課)

○轉官

舊官	氏名	新官	轉官年月日	記事
海軍教員	澤田 勳	臺灣公立中等學校教諭	六月二十四日	
海軍技手	井形辰雄	地方鑛山局技手	九月三〇日	
同	關根節郎	地下資源調査所技手	同	
同	加藤作三	織維工業試驗所技手	同	
海軍書記	梅原一夫	織維工業試驗所屬	同	
海軍司政官	中崎重嗣	財務局部長	一〇月一日	
同	田所忠義	地方事務官	一〇月八日	

○正誤  
 海軍公報第五一九八號三三二頁上段轉官ノ項中「桐野健六」ハ

0064



海軍公報 第五二〇六號

昭和二十年十月十六日(火)  
海軍大臣官房

○通牒

經豫第三號ノ一一八

昭和二十年十月十二日

海軍省經理局長

關係各支出官ノ取  
契約擔任官ノ取

政府特殊借入金ニ關スル件通牒

今般官房經第四九七號ヲ以テ企業整備資金措置法ニ關スル件改正セラレタル處本件ハ現下經濟情勢竝ニ豫算ノ現況等ニ鑑ミ左記趣旨(關係省關係官ノ了解)ヲ以テ發令セラレタルモノニ付可然取計相成度

記

- 一 物件ノ買収代金若ハ加工費、工事費、保管料又ハ註文打切ニ依ル辨償金等ヲ支拂フニ當リ其ノ一部ヲ歲出金ノ支出ニ依ラズ企業者ニ對スル政府特殊借入金トスルコト
- 二 政府特殊借入金ト爲スベキ支拂ハ一件又ハ一回ノ支拂金額二十萬圓以上ノモノトシ且當該企業者ノ指定軍需金融機關ヨリノ借入金額ヲ限度トスルコト(但シ支出官ハ本借入金額ノ限度ニ拘ラズ特殊決濟手續ヲ爲シ得ルモノトス)
- 三 政府特殊借入金ノ債權者タル企業者ハ右借入金ヲ指定軍需

海軍公報 第五二〇六號 昭和二十年十月十六日

金融機關ニ讓渡シ之ヲ以テ前記借入金ノ辨濟ニ充ツルコト

(參照)

臨時資金調整法施行令(抄録)

(昭和十二年九月二十五日)  
勅令第五百二十七號

第九條ノ六 政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ支拂フベキ土地、建物、船舶、樹木ノ集團、設備、權利其ノ他大藏大臣ノ指定スル物件ノ買収代金若ハ加工費、大藏大臣ノ指定スル工事費若ハ保管料又ハ補償金若ハ補助金ノ債務ニ付其ノ全部若ハ一部ノ支拂ニ代ヘ之ヲ債主ヨリノ政府特殊借入金ト爲シ又ハ債主ニ對シ當該支拂金ノ全部若ハ一部ヲ企業整備資金措置法第六條若ハ第七條ノ規定ニ準シ債主ノ特殊預金若ハ債主ヲ信託者及受益者トスル特殊金錢信託ト爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

臨時資金調整法施行令第九條ノ六ノ規定ニ依リ指定ノ件

(昭和二十年十月三日)  
大藏省告示第三百六十五號

臨時資金調整法施行令第九條ノ六ニ依リ左ノ通指定ス  
價格二十萬圓ヲ超ユル物件ノ買収代金又ハ一回ノ支拂金額二十萬圓ヲ超ユル加工費、工事費若ハ保管料

三五五

0065

政府金銭債務特殊決濟事務取扱規則(抄録)

(昭和十八年七月十日)  
大藏省令第六十號

第一條 企業整備資金措置法第三條及臨時資金調整法施行令第九條ノ六ノ規定ニ依ル政府金銭債務ノ特殊決濟事務ノ取扱ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 各省大臣(其ノ委任ヲ受ケタル官吏ヲ含ム以下同ジ)補償金、補助金又ハ買收代金ノ債務ニ付其ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ代ヘ之ヲ債主ヨリノ政府特殊借入金ト爲サントスルトキハ債主ニ第一號書式ノ政府特殊借入金借入通知書ヲ發シ企業整備資金措置法施行規則第三條第一項(昭和十九年大藏省令第一號第二條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル當該政府特殊借入金ノ元利支拂店名ヲ徴シタル上大藏大臣ニ第二號書式ノ政府特殊借入金借入請求書ヲ送付スルト共ニ其ノ旨ヲ支出官(繰替拂命令官ヲ含ム以下同ジ)又ハ契約擔任官ニ通知スベシ

(中略)  
第一號書式 政府特殊借入金借入通知書 (用紙寸法日本標準規格B5)

政府特殊借入金借入通知書

氏 名

一金

右金額ハ企業整備資金措置法第三條前段(又ハ臨時資金調整法施行令第九條ノ六前段)ノ規定ニ依リ其ノ者ノ政府特殊借入金

ト爲スベキニ付右通知ス

追而右政府特殊借入金ノ元利支拂ヲ受ケントスル店舗ノ名稱ヲ昭和 年 月 日迄ニ「何々」ニ申出ラレタシ  
昭和 年 月 日

「何」大 臣 團

又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏職氏名團

第二號書式 政府特殊借入金借入請求書 (用紙寸法日本標準規格B5ノモノ數葉)

政府特殊借入金借入請求書

企業整備資金措置法第三條前段(又ハ臨時資金調整法施行令第九條ノ六前段)ノ規定ニ依リ左記ノ通政府特殊借入金ト爲シ度ニ付可然取計相成度候也

昭和 年 月 日

「何」大 臣 團

又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏職氏名團

大藏大臣宛

一、記

一、政府特殊借入金金額

二、借入年月日

三、債主住所氏名

四、元利支拂店

五、原債務ノ金額、種類(補償金、補助金又ハ買收代金ノ別)

六、原債務負擔ノ會計名及履行ノ年度

0066

七、原債務ノ負擔ヲ爲シタル根據(豫算外契約ノ件名、法律ノ名稱及條文又ハ豫算定額(款項ノ科目)ノ別)  
備考 本書ハ二通作成送付スルモノトス

經艦第八號ノ一七八

昭和二十年九月三十日

海軍省經理局主任出納官吏

艦隊經費各分任出納官吏殿

特別輸送艦船ノ經費區分等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電シアルニ付了知相成度

記

發 海軍省經理局主任出納官吏

宛 横須賀、吳、佐世保、舞鶴、大湊、大阪各海軍經理部分任出納官吏

第二九四九四五番電(九月)

一 外地復員輸送任務ニ從事スル艦船ニ要スル諸經費ハ引續キ艦隊經費支辨ノコトトセラレ

二 右ニ基ク諸報告書類ハ從來通提出セシメラルル様取計ハレ

度

經艦第八號ノ一七九

昭和二十年九月三十日

海軍省經理局主任出納官吏

艦隊經費各分任出納官吏殿

經費殘額ノ返納整理等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電シアルニ付了知相成度

記

發 海軍省經理局主任出納官吏

宛 横須賀、吳、佐世保、舞鶴、大湊、大阪、鎮海各海軍經理部分任出納官吏  
札幌、仙台、設谷浦、名古屋、松山、別府各海軍經理部支辨

第二三二〇一六番電(九月)

一 艦隊經費支辨艦船部隊等ノ解散又ハ解隊等ノ際經費殘額ヲ返納金トシテ日本銀行ヘ拂込ム向不勘ニ付貴部ニ於テ取組メ主任官吏ヘ返納(分割交付)スル様指導アリ度

二 最終現況報告書ハ可及的速ニ提出スル様可然取計ヒヲ得度

○ 雜 談

○ 轉官

海軍司政官藤岡政一ハ九月二十六日地方事務官ニ、同小坂寛見ハ九月二十九日外務省調査官ニ孰モ轉官セリ

○ 正誤

十月十二日附海軍公報通牒欄軍務二第一九二號艦船ヲ以テスル在外地軍官民内地還送計畫ノ項三四九頁在外軍官民總數ノ表中

海軍公報 第五二〇六號 昭和二十年十月十六日

三五七

0067

方 面	合 計
滿 洲	70,0
千 島	4,9
樺 太	4,9

方 面	合 計
滿 洲	170,0
千 島	5,7
樺 太	44,9

ノ誤

0068

海軍公報 第五二〇七號

昭和二十年十月十七日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房法第四一號

昭和二十年勅令第五百八十二號懲戒又ハ懲罰ノ免除ニ關スル件ノ精神ニ則リ廳長ハ其ノ所屬ノ職員及人夫ニシテ昭和二十年九月二日前(二日ヲ含マズ)ノ所爲ニ付懲戒ノ處分ヲ受ケタルモノニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒ヲ免除シ未ダ處分ヲ受ケザルモノニ對シテハ之ヲ行ハザルコトニ取計フベシ但シ懲戒ニ基ク既成ノ效果ハ免除ニ依リ變更セラルルコトナシ

昭和二十年十月十七日

海軍大臣

海軍大臣ニ報告スベシ

昭和二十年十月十七日

海軍大臣

官房法第四三號

昭和二十年勅令第五百八十二號懲戒又ハ懲罰ノ免除ニ關スル件ノ精神ニ則リ軍人又ハ軍屬ニシテ昭和二十年九月二日前(二日ヲ含マズ)ノ所爲ニ付上陸(外出)止又ハ戒告處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來ニ向テ之ヲ免除シ未ダ處分ヲ受ケザル者ニ對シテハ之ヲ行ハザル様取計フベシ

昭和二十年十月十七日

海軍大臣

官房法第四二號

所轄長ハ昭和二十年勅令第五百八十二號ニ基キ執行中ノ懲罰ヲ免除セラレタル者ニ付テハ其ノ本籍、所屬、官職、階級、氏名、犯行、罰及其ノ言渡年月日、實際免除ノ手續ヲ了シタル年月日竝ニ其ノ執行ヲ免セラレタル日數等ヲ海軍大臣ニ報告スベシ所轄長ハ未ダ處分ヲ受ケザル犯行ニ付懲罰ヲ特免セラレタル者ニ對シテハ懲罰特免ノ告達ヲ爲シ准士官以上ニ在リテハ其ノ特免告達書寫ヲ添ヘ其ノ者ニ在リテハ其ノ本籍、所屬、官職、階級、氏名、犯行及懲罰特免ノ手續ヲ了シタル年月日等ヲ夫々

海軍公報 第五二〇七號

昭和二十年十月十七日

三五九

官房法第四五號

昭和二十年十月十七日

海軍大臣

各廳長殿

恩赦ニ關スル件訓令

茲ニ畏クモ恩赦ノ 聖詔ヲ降シ給ヒ大赦令、減刑令、復権令及  
懲戒懲罰免除令ヲ公布セラル 聖恩廣大洵ニ感激ニ堪ヘズ夫レ  
克ク御旨ヲ奉體シ慎重審議苟モ違由愆ル所ナキヲ期スベシ而シ  
テ恩赦ノ惠澤ニ浴シタル者ニ對シテハ懇ニ訓誨ヲ加ヘ深ク聖旨  
ヲ奉戴シ至誠奉公ノ實ヲ舉ゲシムルコトヲ努ムベシ

○ 通 牒

官房法第四六號

昭和二十年十月十七日

海軍次官

各廳長殿

懲戒、懲罰免除ニ關スル件申進

昭和二十年勅令第五百八十二號ニ依ル懲戒又ハ懲罰免除ニ關シ  
テハ左記ノ通承知相成度

記

一 昭和二十年九月二日前(二日ヲ含マズ)ノ所爲ニ付懲戒又  
ハ懲罰ノ處分ヲ受ケタル者ノ將來ニ於ケル取扱ハ處罰ナカリ  
シモノト看做サル從テ將來ニ於テ其ノ受ケタル處罰ノ爲ニ勤

務日數ヲ除算セズ

二 既ニ處分ノ言渡アリタル懲戒又ハ懲罰ニ關シテハ履歷書中  
ヨリ之ヲ削除セズ昭和二十年勅令第五百八十二號ニ依リ免除  
セラレタル旨記入ス

三 懲罰言渡未済ノ犯行者ニ對シテハ懲罰特免ノ告達ヲ行フモ  
之ヲ履歷書ニ記入セズ

0070

# 海軍公報 第五二〇八號

昭和二十年十月十九日(金)  
海軍大臣官房

### ○令 達

官房人第四五八號  
本年十月十五日現在軍令部出仕兼海軍省出仕又ハ軍令部出仕タル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ海軍省出仕ニ補職セラレタル義ト心得ベシ

昭和二十年十月十五日

海軍大臣

### ○通 牒

海人一第一號ノ一六三

昭和二十年十月 日

海軍省人事局長

各所屬長官(殿)  
關係各所轄長(殿)

解員關係令達等ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍大臣

宛 吳鎮守府司令長官

通報・横須賀、佐世保、舞鶴鎮守府司令長官

第二五一八〇番電

高砂丸ニテ歸還ノ軍人軍屬ノ取扱ニ關スル件

今次高砂丸ニテ歸還スル海軍軍人軍屬ノ取扱ニ關シ左ノ通定ム

一 全般ノ統制實施ヲ吳鎮守府ニ指定シ之ヲ統制官トス

統制官ハ關係各部(陸軍ヲ含ム)ト連絡ヲ密ニシ歸還者取扱

ニ關シ遺漏ナキヲ期スルモノトス

二 統制官ハ歸還者ニ對シ人員調査、檢疫、消毒、診斷ヲ實施

シ之ガ狀態ヲ速ニ士官、高等文官、軍政要員タル判任文官及

從軍文官ニ在リテハ海軍省人事局長ニ、其他ニ在リテハ在籍

鎮守府司令長官(在籍鎮守府ナキモノニ在リテハ派遣元所屬

長官)ニ通報スルモノトス

三 歸還者ノ解員要領ハ左ニ依ル

(イ) 軍 人

(一) 佐官(九月五日附特務士官ヨリ任用ノ各料少佐ヲ除ク)

ハ海軍大臣直接之ヲ行ヒ、九月五日附特務士官ヨリ任用

ノ各料少佐及尉官ニ付テハ海軍大臣、又特務士官、准士

官、下士官及兵ニ付テハ在籍鎮守府司令長官ノ名ニ於テ

吳海兵團長之ヲ實施ス、

(二) 解員セラレベキ者ノ特殊任用進級(高等官ノ任用進級

ヲ除ク)ハ八月十五日以降任用進級セラレザリシ者ニ對

シ解員ノ日ニ於テ吳海兵團長官房人機密第二一〇一一〇

0071

(ロ) 番電第五號ニ依リ之ヲ實施ス  
軍 屬

- (一) 高等文官ハ歸着ノ翌月十五日附解員(依願免官)(軍政要員ニ在リテハ轉官)ヲ目途トシ海軍大臣之ヲ行フ
  - (二) 判任文官ハ歸着ノ翌月十五日附ヲ以テ統制官ニ於テ海軍省名ヲ以テ依願免官ノコトトシ歸着セシム但シ軍政要員トシテ他省判任文官等ヨリ轉官派遣セラレタル者ニ付テハ現官ノ儘速ニ原所屬廳ニ出頭セシメ翌月十五日附ヲ以テ他省ニ轉官ノコトニ照會處理スルモノトス
  - (三) 明治三十八年勅令第四十三號ニ依ル定員外配屬者(從軍文官)ニ在リテハ歸着ノ月末ヲ以テ統制官海軍省名ヲ以テ從軍ヲ解除シ原所屬廳ニ復歸セシム
  - (四) 囑託者徵用員中未解囑未解除ノ者ニ在リテハ統制官歸着ノ翌月十五日附ヲ以テ解囑解除スルモノトス
  - (五) 雇員傭人工員ハ統制官歸着ノ翌月十五日附ヲ以テ解雇ノコトトシ歸省セシム
  - (六) 解員時ニ於ケル昇等、増俸、報酬、増額等ニ付テハ既令解員者ニ同シ
  - (七) 統制官ハ情況ニ依リ免官、解囑、解雇備ノ期日ヲ繰上グルコトヲ得
- 四 歸還ノ軍人軍屬ニ對スル解員ニ伴フ給與(家族下渡中ノ給與ヲ除ク)ハ吳海兵團ニ於テ之ヲ掌理スルモノトス但シ第五號ニ依リ病院ニ轉籍スル者ニ付テハ當該病院ニ於テ掌理ス
- 五 入院セシムヘキ下士官兵ノ取扱ハ人事機密第〇六一三三六

番電ニ依ルモノトシ軍屬亦之ニ準ズ

六 本令第三號(イ)項(一)、(ロ)項中(一)乃至(四)及第四號ニ關スル處理ニ付テハ其ノ都度速ニ海軍省人事局長(二通)及在籍領守府人事部長並ニ各別ニ家族下渡廳ニ備報スベシ

七 歸還海軍軍人先任者ハ適當ノ時機海軍省ニ出頭狀況報告ヲ行フベシ

發 海軍省人事局長  
宛 部内一般

第二九二〇一〇番電

昭和二十年一月二十日任用ノ軍醫科、藥劑科、齒科醫科中少尉ハ今期進級セシメラレアラザルニ付人事取扱上誤ナキ様留意アリ度

發 海軍省教育局長

宛 各廳長

第三〇一三三二番電

海軍諸學校出身者在學者及豫科練等ノ文部省管下諸學校等ニ轉入學ノ爲必要ナル身分證明書ハ各廳長地方海軍人事部長等ニテ調整セシモノニテ差支無之ニ付希望者ニ對シ調整交付方取計ハレ度

發 海軍省人事局長

宛 内地所在部内一般

第〇一一九五〇番電



解隊時ニ於ケル人員報告ノ件

爾今解隊、廢止又ハ定員ヲ置カレザルニ至リタル場合連ニ左ニ關シ人事局長宛電報々告ヲ得度

一 解隊期日ニ於テ終戦以後ノ解員數並ニ解隊期日以後ノ殘留數

二 爾後殘留者ナキニ至リタルトキ

本日より於テ解隊セル各部ニ對スル前號調査ハ殘留首席者ニ於テ報告サレ度

發 海軍省人事局長

宛 部内一般

第〇二二一〇七番電

復員輸送用艦艇乗員タル豫備士官ノ解員ニ關スル件

復員輸送用艦艇乗員タル豫備士官ハ現役ノ士官、特務士官又ハ准士官ノ交代者着任ニ依リ所轄長ニ於テ不要ト認メラルルニ至レル者ヨリ逐次官房人機密第二一〇一一〇番電第四號ニ則リ海軍大臣ノ名ニ於テ解員ヲ實施シ其ノ官職氏名(電報符)ヲ速ニ報告サレ度但シ引續キ輸送勤務希望ニシテ適任ト認メラルル者ハ他ノ輸送用艦艇ニ異動セシメラルルコトアルベキニツキ其ノ官氏名(電報符)至急通知ノコトニ取計ハレ度

發 海軍大臣

宛 各鎮守府、各警備府司令長官

第〇二二一〇八番電

外地ヨリ歸還軍人軍屬ノ取扱ニ關スル件

外地(朝鮮ヲ除ク)ヨリ歸還スル海軍軍人軍屬ノ取扱ニ關シ左ノ通定ム

一 全般ノ統制實施ヲ歸還地ヲ管スル鎮守府警備府司令長官ニ指定シ之ヲ統制官トス統制官ハ關係各部(陸軍ヲ含ム)ト連絡ヲ密ニシテ歸還者取扱ニ關シ遺憾ナキヲ期スルモノトス

二 右以外ニ關シテハ官房第二五一八〇番電高砂丸ニテ歸還軍人軍屬ノ取扱ニ關スル訓令ヲ適用ス

發 海軍省人事局長

宛 部内一般

第〇二二一〇二〇番電

海軍文官同待遇者ニ付免官後ニ於ケル現住所(變更ノトキハ其ノ都度)ヲ高等文官ニ在リテハ海軍省人事局ニ判任文官同待遇者ニ在リテハ海軍省人事局及在籍鎮守府又ハ警備府ノ海軍人事部ニ通知セシメラレ度

發 海軍省人事局長、海軍施設本部長

宛 各海軍人事部長、各海軍施設部長

第〇三一五四三番電

施設系文官ノ處理ニ關スル件

内地施設系各部勤務中ノ文官ニシテ運輸省ニ轉入者ハ免官ノ上新タニ任用ノコトニ定メラレタルニ付十月十日附殘務處理要員

ヲ除ク判任文官總員免官手續方取計ハレ度  
殘務處理要員ヲ除ク高等文官ニ關シテハ十月十日附總員免官ノ  
コトトセララルニ付官房人第三〇一四〇一番電及同二〇〇九五  
〇番電ニ依ル隨殺アリタルモノトシ諸給與處理アリ度

契八機密第二〇號ノ一三六二

昭和二十年十月十五日

海軍省軍務局長  
海軍省經理局長

各領守府各警備府各艦隊參謀長  
各海軍經理部長

海軍徵備船ノ備船料修理費及補償等ニ關スル  
件申進

首題ノ件左記ニ依リ處理相成渡

記

一 備船料

- (イ) 八月十日附解備ノコトトシ船主ニ引渡濟ノ在内地船船ニ  
對シテハ二ヶ月分以内ノ額ヲ以テ同航費及消費備品消耗品  
等ノ損失ヲ辨償スルコトヲ得
- (ロ) 八月十日附解備セルモ引續キ官ニ於テ使用稼動中ノ船船  
ニ對シテハ船主ニ引渡ノ月迄支拂フ外前號ニ依リ處理スル  
コトヲ得

(ハ) 八月十五日現在特設艦船タリシ船船ニ對シテハ中央ヨリ  
何分ノ指示アル迄引續キ毎月支拂フモノトス但シ八月三十

一日附買収又ハ引受若クハ全損補償處分ノコトニ定メラレ  
タル場合、九月以降支拂ヒタル備船料ハ戻入セシムルモノ  
トス

二 修理 (契約ニ基ク官負擔修理及改造機裝復舊工事)

(イ) 修理ノ實施

- (一) 八月十五日現在特設艦船タリシ船船ハ官ニ於テ實施ス  
ルモノトス
  - (二) 機帆船漁船等ノ小型船ハ民間修理施設ニ於テ各船主、  
實施スルモノトス但シ八月十五日現在官施設ニ於テ修理  
中ノモノハ速ニ關係廳ニテ善處スルモノトス
  - (三) 其ノ他ノ船船ニアリテハ計畫修理ニ屬スルモノハ軍務  
局艦政本部(廢廳後ハ海運總局)ノ指示スル處ニ依リ計  
畫修理以外ノモノハ前號ニ準ジ實施スルモノトス
- (ロ) 修理資材  
民間修理施設ニ於テ要スル修理資材ハ可成官ニ於テ斡旋ス  
ルモノトス
- (ハ) 修理費  
各船主ハ民間修理施設ニ於ケル修理費ニ關シ監督官又ハ地  
方海運局ノ證明ヲ受ケ、地方契約ノ船船ニアリテハ各經理  
部、中央契約ノ船船ニアリテハ經理局ニ請求ノ上支拂ヲ受  
クルモノトス
- 三 補償  
(イ) 監督官又ハ地方海運局ニ於テ損傷大ナル等ノ事由ニ依リ

0074

修理不能ト認定セラレタル船舶ハ全損補償處分スルコトヲ得之ノ場合船主ハ修理不能ノ證明ヲ添ヘ速ニ支拂應允申請スルモノトス

(ロ) 八月十五日現在特設艦船タル船舶ニシテ海難事故發生セル場合ハ附保シアラザルニ付官ニ於テ補償スルモノトス

(ニ) 八月十日附ノ解備通知船主ニ到達前、海難事故發生シ、附保手續未了ノ場合ハ官ニ於テ補償スルコトヲ得

四 其ノ他

三(イ)及(ロ)ニ屬スル殘骸ハ團體又ハ元船主等ノ希望ニヨリ殘存船價ヲ以テ有償拂下スルコトヲ得

○雜 款

○事務開始 ハハ  
舞鶴海軍復員收容部ヲ京都府舞鶴市宇濱舊舞鶴海兵團ニ設置シ十月十日事務ヲ開始セリ  
(舞鶴海軍復員收容部)

○郵便物發送先變更

一 舊宛名 舞鶴局氣付海五七

一 變更名 吳局氣付特別輸送艦海五七  
(第五十七號海防艦)

○郵便物回送先竝ニ發送先變更  
本艦宛郵便物ハ十月六日以降神奈川縣三浦郡浦賀郵便局ニ回送方相成度

追テ自今本願宛郵便物ハ神奈川縣浦賀郵便局氣付ニテ發送ヲ得度  
(軍 艦 風 翔)

○郵便物發送先  
本艦宛郵便物ハ十月九日以降神奈川縣久里濱郵便局留置ニテ發送相成度  
(特別輸送艦酒匂)

當隊宛郵便物ハ横須賀市久里濱横須賀復員收容部内宛ニテ發送相成度  
(第六十六管備隊)

○轉官

舊 官	氏 名	新 官	轉官年月日	記事
海軍司政長	鮫 島 茂	内務省調査官	九月十五日	
海軍司政官	玉井禹吉郎	地方事務官	九月十九日	
同	眞木英男	土木事務官	九月二十日	
同	坂本勝市	同	同	
同	山田一郎	同	同	
同	餘木政平	兼福島師範學校校長 兼福島師範學校教授	九月二十二日	

0075

# 海軍公報

第五二〇九號

昭和二十年十月二十日(土)

## 海軍大臣官房

### 命令

官房第四八一號

當分の間左ノ各號ニ依リ部内限リ東京海軍病院ヲ置ク

昭和二十年十月十五日

海軍大臣

一 所屬、呼稱、施設及所在地

所屬	呼稱	使用施設	所在地
横須賀鎮守府	東京海軍病院	海軍軍醫學校 第二附屬病院 第一附屬病院	東京都目黒區大原町

二 東京海軍病院ニ於ケル勤務ハ海軍病院ニ準ズルモノトス

### 通牒

官房第四六〇號

昭和二十年十月十九日

海軍省副官

在京親任官  
在京各廳長殿

靖國神社例大祭ニ關スル件通牒

來ル二十三日靖國神社例大祭ニ付當日左記ニ依リ參集相成度

海軍公報 第五二〇九號 昭和二十年十月二十日

### 記

一 參集スベキ者 高等官

二 參集時刻、場所 午前八時三十分靖國神社拜殿

三 服裝 武官 第一種軍裝又ハ第三種軍裝 略綬  
(帶劍セズ)

文官 通常服又ハ國民服禮裝

備考 判任官以下ハ勅使下向後參拜ノコト

經物第一〇五號

昭和二十年十月十八日

海軍省經理局長

海軍省經理局長

各所屬長官殿  
關係各廳長殿

終戰ニ伴フ各部ノ會計帳簿及書類ノ處分ニ關  
スル通牒中進等ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍省經理局長

宛 各海軍經理部長

第〇九一七二〇番電

終戰ニ伴フ各部ノ會計帳簿及書類ノ處分ニ關  
スル件

スル件

一 解隊又ハ廢廳トナリ残務整理済ノ各部ノ會計帳簿及書類ハ所管經理部ニ於テ之ヲ保管シ經理部廢止後ハ残務整理廳ニ移管スルモノトス

二 右帳簿及書類中昭和十六年十二月一日以降ノモノハ臨時軍事費決算確定乃至會計檢査判決確定ノ關係上一切處分セザルモノトス

發 海軍省經理局長

宛 各海軍經理部長、各物品出納命令官

第一〇一三四番電

物品ノ終戰處理ニ關スル件

物品ノ終戰處理ハ左ノ通指導アリ度

一 聯合國側ニ引渡シタル物品(聯合國側ヨリ内務省ニ讓渡アリタルモノ共)ハ接收員ノ(領收書領收書ヲ徴シ得ザルトキハ離權票)ヲ證憑トシテ拂出ヲ爲スコト

二 右以外ノ物品ハ所屬會計官吏ニ還納手續ヲ爲シ會計官吏ハ出納命令官ノ指示ニ依リ處理ノコト

三 出納命令官ハ前號ノ物品中重要ナルモノニ付テハ所管經理部長ト協議シ上處理シ廢廳時處分未済ノモノハ地方財務局ニ保轉セシムルコト

發 海軍省經理局長、海軍省軍務局長

宛 各領守府、各海軍經理部長(除領海)

第〇六一二五二番電

國有財産ノ處理ニ關スル件

國有財産ハ十月末日(機械器具ハ十一月一日以降當該廢廳整理ノ日)大藏省ヘ包括的ニ移管整理ノコトニ定メラレタルニ付左記準備セシメラレ度

一 各事務分掌官ハ「移管財産調書」ヲ作り國有財産彙帳(彙帳整理未済ノモノハ其ノ整理資料)ヲ添ヘ所轄地方財務局長ニ引續キ調書寫二通ヲ經理局ニ送付ノコト

二 移管財産調書ハ地方財務局管轄區域別トシ「供用廳名」、「財産區分(土地、建物、工作物、機械器具別)」、「數量」(平米、棟、臺等概量ニテ可)、「所在地(府縣名ノミニテ可)」ヲ記シ部外ニ使用許可中ノモノ等ハ其ノ旨附記ノコト

三 聯合國接收ノモノ(接收後内務省ニ讓渡ノモノ共)モ移管財産調書ニ掲記シ其ノ旨附記ノコト

○雜、款

○轉官

海軍司政長官阿部敏雄ハ十月六日厚生技師ニ、海軍屬兼海軍曹記上野山正輝ハ十月十五日附貴族院屬ニ孰モ轉官セリ

0077

終戰關係

海軍公報 第五二一〇號

昭和二十年十月二十二日(月)  
海軍大臣官房

○通牒

經給第一四四號

昭和二十年十月十九日

海軍省經理局長

各所屬長官(殿)

關係各廳長(殿)

軍人軍屬ノ解員又ハ整理ニ伴フ給與ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍省經理局長

宛 内地、朝鮮及關東州各所屬長官、各所轄長

第一二二三〇番電

八月十五日以降死亡シタル軍人軍屬ノ退職賞與ハ解員又ハ整理ニ伴フ退職賞與相當額支給

ノ件

本年八月十五日以降死亡シタル軍人軍屬(工傭員ヲ含ム)(軍人軍屬タル面目ヲ汚シ死亡シタル者ヲ除ク)ニ對スル退職賞與ハ海軍退職賞與內規ニ拘ラズ解員又ハ整理ニ伴フ退職賞與相當額ヲ支給シ得ルコトニ定メラル

秘海軍公報 第五二〇〇號 昭和二十年八月二十二日

三六九

0078

海軍公報 第五二二號

昭和二十年十月二十四日(水)  
海軍大臣官房

○令 達

官房人第四六二號  
本年十月十五日現在南方政務部附タル軍政要員ハ特ニ發令セラ  
ルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ海軍省人事局附ヲ命ゼラレ  
タル義ト心得ベシ

昭和二十年十月二十二日

海軍大臣

○通 牒

官房軍第五〇一號

昭和二十年十月二十日

海軍省 副官

各廳長 殿

内地ニ於ケル軍事郵便取扱廢止ノ件通牒

在内地海軍部隊、官衙等ニ對スル軍事郵便ノ取扱ハ十月十五日  
限り之ヲ廢止セラレ候

追テ公用郵便物及郵便爲替ノ料金ヲ海軍省ニ於テ一括納付ス  
ル方法(二〇、六、一五海軍公報第五一四五號掲載軍務一第  
二五一號參照)ハ八月十五日限り廢止ニ付爲念

經豫第三號ノ一一九

昭和二十年十月十八日

海軍省經理局長

各所屬長官 殿  
關係各廳長 殿

歲入徵收官、支出官事務停止ノ件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發、海軍大臣

宛、各所屬長官、關係各廳長

第一二一八五〇番電

歲入徵收官、支出官事務停止ノ件

海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ海軍省經理局及海軍經  
理部(同支部ヲ含マズ)以外ノ各部ノ歲入徵收官、支出官ハ十  
月十五日限其ノ事務ヲ停止シ當該各部勤務ノ主計科士官ヲ收入  
官吏、資金前渡官吏ト定ム

○雜 款

○事務開始ノ件

官房軍第四四二號ニ依ル作戰關係資料蒐集委員會(史實調査部  
ト略稱ス)十月一日海軍大學校内ニ於テ事務開始致候尙海軍省

海軍公報 第五二二號 昭和二十年十月二十四日

三七一

0079

海軍公報 第五二二號 昭和二十年十月二十四日

構内北六號館三階（C三〇七號室）ニ連絡室設置シアリ至急要  
處理事項ハ同連絡室ヲ利用セラレ度

（作戰關係資料蒐集委員會幹事長）

三七二

0080



海軍公報 第五二二二號

昭和二十年十月二十七日(土) 海軍大臣官房

○令 達

達第一八一號  
達、内令、官房號等ヲ以テ定メアル諸規定ハ當該基本法令タル法律、勅令、軍令又ハ海軍省令(他省トノ連帶ノ省令ヲ含ム)等ガ終戰ニ因リ廢止セラレタルトキハ之ニ伴ヒ自然消滅トス

昭和二十年十月二十五日

海軍大臣

官房第四六四號

本年十月十五日現在海軍軍醫學校職員タル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ横須賀鎮守府出仕又ハ同附ニ補命セラレタルモノトシ校長タリシ者ハ東京海軍病院(假稱)ノ院長ノ職務ヲ執行シ其ノ他ノ者ハ同病院ノ職員トシテ服務スル義ト心得ベシ

昭和二十年十月十五日

海軍大臣

官房第五〇六號

俘虜虐待者査問委員會規程中左ノ通改正ス

昭和二十年十月二十五日

海軍大臣

海軍公報 第五二二二號 昭和二十年十月二十七日

第二條中「終戰委員會第七分科會委員」ノ下ニ「(管内海軍少將ヲ幹事トス)」ヲ加ヘ「○法務局長」ヲ「法務局長」ニ改メ「○印ハ幹事トス」ヲ削ル  
(昭和二十年九月二十七日海軍公報參照)

○雜 款

○移轉  
戶塚海軍病院ハ戶塚國民學校ヨリ舊桑原部隊(横濱市戶塚區中田町)ニ移轉セリ  
(電話戶塚三一〇番)

○殘務整理ニ關スル件

十月二十日附大阪海軍運輸部及同神戸支部ハ定員ヲ置カレザルコトトナリタル處之ガ殘務整理ハ左記ニ於テ之ヲ行フ

記

大阪市東區北濱二丁目十九

大阪海軍軍需部内

海軍中佐 吉川義雄宛

(大阪海軍運輸部)

十月二十五日附海軍經理學校殘務終了爾后所要ノ向ハ左記ヘ連

絡アリ度

記

芝罘新橋七丁目十二番地復員援護會内

眞下主計少佐宛

(海軍經理學校)

○轉官

海軍司政官三浦武治ハ七月十三日臺灣公立中等學校長ニ、海軍  
編修鮫島勝彦ハ十月十六日終戰連絡中央事務局連絡官ニ執モ轉  
官セリ

0082

# 海軍公報

第五二二三號

昭和二十年十月二十九日(月)  
海軍大臣官房

### ○通牒

經物第三號ノ二一

昭和二十年十月二十一日

海軍省 經理局長

### 各支出官 契約擔任官

企業整備資金措置法等ノ規定ニ依ル特殊決濟  
ノ實施細目ノ件申改正ノ件通牒

昭和十八年經物第一四二號通牒首題ノ件申左ノ通改正ス

一 第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 同官房「經號」第一號ニ於テ政府特殊借入金ト爲スベキ  
トキトアルハ左ニ掲グル買收代金等ノ支拂ヲ爲ストキトス

(一) 企業整備ヲ實施セラレツツアル業種ニ屬スル事業又ハ  
其ノ他ノ會社若ハ個人ニ屬スル土地、建物、船舶、樹木

ノ集團、機械器具其ノ他ノ設備又ハ權利(之ト共ニ處分  
セラルベキ仕掛品、原材料等共以下設備等ト稱ス)ノ買  
收代金ニシテ金額二十萬圓ヲ超ユルモノ

(二) 價額二十萬圓ヲ超ユル物件(設備等ヲ除ク)ノ買收代  
金、一回ノ支拂金額二十萬圓ヲ超ユル加工費、工事費若  
ハ保管料又ハ同金額ヲ超ユル註文打切ニ因ル補償金

(三) 補償金(註文打切ニ因ルモノヲ除ク)又ハ補助金  
同第三號ニ於テ特殊預金「又ハ特殊金」錢信託ト爲スベキ  
トキトアルハ設備等ノ買收代金ニシテ金額二十萬圓ヲ超ユ  
サルモノノ支拂ヲ爲ストキトス

二 第二號中「設備等ノ買入又ハ讓渡ノ契約ヲ爲シタルトキト  
雖モ」トアルヲ「前號第一項又ハ第二項ニ該當スル支拂ヲ爲  
ストキト雖モ」ト改ム

(參照) 海軍會計法規類集四卷四三二ノ二一頁

### ○雜談

#### ○移轉

吳海軍復員收容部(舊吳海兵團)ハ本月二十一日大竹海兵團  
ニ移轉セリ

#### ○轉官

海軍技師箱田顯雄同角谷久五郎ハ執モ十月十一日氣象技師ニ轉  
官セリ

#### ○失官

海軍屬兼海軍書記 〇六 詐欺業務上ノ横領ニ依リ懲役十ヶ月  
ノ裁判確定シ十月十一日失官トナレリ

秘海軍公報 第五二二三號 昭和二十年八月二十九日

三七五

0083

海軍公報 第五二一四號

昭和二十年十月三十日(火)  
海軍大臣官房

○通牒

經給第一四三號  
昭和二十年十月十一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

外地歸還海軍軍人軍屬ノ解員ノ際ニ於ケル給  
與取扱ニ關スル件通牒  
首題ノ件左記要領ニ依リ處理相成度

記

外地歸還海軍軍人軍屬解員給與取扱要領

一 外地(海軍戰時特例給與規則第一條ノ二ノ戰地及準戰地並ニ樺太ヲ謂フ)ヨリ歸還ノ海軍軍人軍屬(工員ヲ含ム)(以下單ニ歸還者ト稱ス)輸送艦船便ニ依リ内地港灣ニ歸着シタルトキハ最寄海軍復員收容部員タル資金前渡官吏(以下單ニ海軍復員收容部員ト稱ス)ハ速ニ(カルク檢疫開始前)別紙様式ノ外地歸還海軍軍人軍屬申告書(以下單ニ申告書ト稱ス)ヲ各人ヨリ提出セシムルモノトス  
(註) 申告書用紙ハ豫メ輸送艦船主計長ニ交付シ置キ航海中本人ヲシテ記註セシムルヲ可トス  
二 海軍復員收容部員ハ歸還者ノ携行シタル給與通牒ニ依

リ、給與通牒ヲ携行セザル場合ハ前號ノ申告書甲片ヲ調査シ第三號ノ解員(整理ヲ含ム以下之ニ同ジ)ニ伴フ給與中未給ノモノアルトキハ歸還者解員退部(入院又ハ轉勤ニ依ル退部ヲ除ク)時迄ニ之ヲ支給スルモノトス

三 海軍復員收容部ニ於テ解員セラレタル者ニ支給スル解員ニ伴フ給與ハ俸給等ヲ除クノ外從來ノ解員者ノ例ニ依ル但シ被服及糧食ニ付テハ海軍省軍需局長ノ通牒ニ依リ處理スルモノトス

(註) 一 俸給等ハ俸給家族下渡廳ヨリ送金ス(第十二號參照)

二 工員(派遣元廳ナキ者ヲ除ク以下之ニ同ジ)ノ俸給家族下渡廳ハ當該派遣元廳ナリ

四 海軍復員收容部員工員ニ對シ退職賞與ヲ支給シタルトキハ其ノ支給額ヲ派遣元廳ニ通知スルモノトス

派遣元廳ハ前項ノ支給額ニ付過不足拂アリト認メタルトキハ給料等ヲ送金ノ際等ニ之ガ追給、控除又ハ追徴ヲ爲スモノトス

五、海軍復員收容部員ハ給與通牒又ハ申告書甲片中不明確ナルモノアルトキハ適切ナル判斷ノ下ニ遲滯ナク適宜處理シ歸郷先ヘノ送金等ヲ極力避クルモノトス

海軍公報 第五二一四號 昭和二十年十月三十日

三七七

0084

- 六 海軍復員收容部員歸還者ニ解任ニ付テ給與ヲ支給シタルトキハ申告書甲片ニ本人ノ受領印(印判ヲ所持セザルトキハ拇印トス)ヲ徴シ申告書甲片ヲ以テ計算證明上ノ證據ト爲スコトヲ得
- 七 海軍復員收容部員給與通牒ニ依リ解任ノ月ノ前月迄ノ給與中過不足拂アルコト明ナルモノニ付テハ規定通牒ヲ爲スモノトス但シ工員ニ付テハ給與通牒ヲ派遣元廳ニ移牒シ同廳ニ於テ過不足拂ニ對スル處理ヲ行フモノトス
- 八 歸還者輸送艦船便乗中ハ粗食ヲ給與(併給食料ヲ支給セズ)シ旅費ヲ支給セズ
- 九 歸還者海軍復員收容部ニ入部中ハ官ノ施設ニ起臥セシメ粗食ヲ給與ス
- 十 歸還者内地歸着後海軍復員收容部又ハ海軍病院迄旅行ヲ要スル場合ハ輸送費ハ官費支辨トス
- 十一 海軍復員收容部員ハ申告書乙片(係給等家族渡中ノ者ノ分タルト否トヲ問ハズ)ヲ切取り之ニ解任年月日ヲ記入シ捺印(職印)ノ上之ヲ速ニ係給家族下渡廳ニ移牒スルモノトス但シ第十四號ニ該當スル者ノ分ヲ除ク
- 十二 係給家族下渡廳ニ於テハ第一〇一八二〇番電(昭和二十年九月十八日終戰關係公報第二九七頁參照)及海軍軍人軍屬係給家族下渡規則第十八條ノ規定ニ拘ラズ前號ノ移牒ニ依リ

- 歸還者ニ對シ係給、特別加俸、戰時増俸(戰地又ハ準戰地ノ陸上所定額)、戰時増給(戰地又ハ準戰地ノ陸上標準額)、勤続手當及臨時家族手當ニ付解任ノ月ヲ含ミ三月分ヲ前金拂(送金)ヲ爲スモノトス但シ十回未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得
- (註) 一 第十一號ノ移牒ヲ以テ新ナル家族渡ノ請求ト看做スモノトス
- 二 現ニ全然家族渡ヲ爲シ非ザル者ニ付テハ送金前預複送金セザル様他ノ家族下渡廳ニ連絡スルモノトス
- 三 現ニ全然家族渡ヲ爲シ非ザル者ニ對シテハ申告書乙片記載ノ歸郷先ノ本人宛送金スルモノトス
- 十三 海軍復員收容部員ハ歸還者ニ對シ解任歸郷後申告書記載ノ歸郷先以外ノ地ニ住所ヲ定メタルトキハ速ニ元所轄、官等級、氏名及住所ヲ係給家族下渡廳ニ通知スベキ旨ノ指示ヲ與フルモノトス
- 十四 歸還者ニシテ海軍病院ニ入院セシムベキモノニ付テハ海軍復員收容部員ハ給與通牒及申告書(甲片及乙片)ヲ當該病院資金前渡官吏ニ移牒スルモノトス
- 十五 海軍病院資金前渡官吏ハ前號ニ依リ移牒ヲ受ケタル申告書乙片ニ入院年月日ヲ記入シ之ヲ係給家族下渡廳ニ移牒スルト共ニ入院者轉院又ハ解任限院シタルトキハ速ニ其ノ官等級氏名及轉院年月日又ハ解任年月日ヲ係給家族下渡廳ニ通知スルモノトス

0085

0086

(甲片)

所 轄		外地歸還海軍軍人軍屬申告書		氏 名	(振假名ヲ付ス)
級料若額 俸月ハ報 又ハ報 給額月					
歸郷先					
今迄ニ解員(整理)ニ伴フ退職ノ支給ヲ受ケタラシム否カ					
復員收容部ニテ支給スル職賞與		金 額	(復員收容部ニテ記入ス)		
		支 給 年 月 日	(復員收容部ニテ記入ス)		
		受 領 者 印			
解 員 年 月 日	(復員收容部ニテ記入ス)	昭 和 年 月 日			

(乙片)

所 轄		官 階		級料若額 俸月ハ報 又ハ報 給額月		特 殊 技 行 章 章	入 籍 番 號	氏 名	捺 印
歸郷先									最便局 局 扶養員 家數 人
解員ノ際家族渡ヲ爲 スベキ給與		俸 給 (給料)	職 時 増 俸	家 族 手 當	勤 続 手 當	賞 與	特 別 加 俸		
現ニ家族渡中ノモノ			円	円	円	円			
現ニ家族渡中ニ非ザ ルモノノ現地ニテ支 給ヲ受ケタル分			迄 月分迄	月分迄	月分迄	月分迄	月分迄		
解 員 年 月 日	(復員收容部ニテ記入ス)	昭 和 年 月 日							
備考 本様式ハ標準ヲ示シタリナルヲ以テ適宜變更又ハ追加差支ナン									

(經給第一四三號別紙)(用紙模造全葉)

(昭和二十年十月三十日海軍公報)

十六 海軍病院資金前渡官吏ハ第十四號ノ移牒ニ基キ現行規定ニ依リ俸給等諸給與(家族渡中ノモノヲ除ク)ヲ解員ノ月ノ前月迄引續キ繼續支給(前金拂ノ分ト重複セザル如ク精算支給スルコト)スルト共ニ解員退院ノ際解員ニ伴フ給與ヲ支給スルモノトス

第二號、第三號及第五號乃至第七號ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

十七 第十二號ハ前號ノ移牒ヲ受ケタル場合ノ俸給家族下渡牒ノ前金拂ニ付之ヲ準用ス

十八 入院者ノ俸給等家族渡ハ本人ヨリ取止請求ナキ限り之ヲ繼續實施スルモノトス

十九 入院者俸給ノ家族渡ノ取止ヲ請求シタルトキハ俸給等諸給與ハ工員以外ノ者ニ付テハ當該病院ニ於テ支給シ工員ニ付テハ當該派遣元廳ニ於テ支給ス

經監一第九號ノ九

昭和二十年十月二十一日

海軍省 經理局長

各海軍經理部長殿

委託検査ノ判決等ニ關スル件通牒

今般勅令第五八六號ヲ以テ出納官吏又ハ出納員(物品會計官吏及取扱主任ヲ含ム)ノ辨償責任ニ基ク債務免除ノ件發布相成候ニ付テハ會計検査院法第十六條ノ規定ニ依リ委託ニ係ル計算ノ検査判決ニ關シテハ左記ノ通取扱フコトニ會計検査院ノ打合濟

ニ付可然取計相成度

尙終戦以降ニ於ケル検査並ニ下検査ハ戦災ニ因ル帳簿書類ノ焼失等ノ爲判定ノ困難ヲ豫想セラルル處右勅令ノ趣旨ニモ鑑ミ出納計算ノ正確ナル旨ノ所轄長ノ保證書又ハ證明書ヲ徴スル等ノ方法ヲ講ジ可及的判決責任解除可能ナル如クシ問題ヲ將來ニ殘サザル様善處セラレ度

追テ會計検査院事務當局ハ證憑書類ナキモ出納計書ニ經理部長又ハ所轄長ノ保證又ハ證明アラバ検査判決責任解除スルノ内意ニ有之爲念申添候

左記

一 検査判決ノ結果既往ニ於テ債務ヲ有スルモノニシテ本勅令ニ依リ今回債務免除トナリタルモノニ對シテノ認下狀ヲ交付セズ

二 將來計算検査上本勅令ノ免除ニ該當スルモノアルトキハ其ノ事實ヲ判定シ之ヲ關係書類ニ記載シ置クニ止メ直ニ認可狀ヲ交付スルモノトス但シ會計検査院ヘノ委託検査成績報告書及認可狀ノ添付書類ニ本勅令ニ依リ免除ノ旨ヲ附記スルコト

三 昭和二十年九月二日前ヨリ其ノ以後ニ涉リ繼續セル事山ニ因リ債務ヲ負フベキ場合ニ於テハ其ノ前後ヲ區分シ同日前ノ事山ニ因ルコト明ナルモノヲ除キ其ノ以後ニ屬スルモノニ對シテノミ判決スルモノトス

海軍公報 第五二一四號 昭和二十年十月三十日

○ 雜 款

0088

海軍公報 第五二四號 昭和二十年十月三十日

三八〇

○削除

十月二十七日附海軍公報雜款欄中「大阪海軍運輸部及同神戸支部ノ残務整理ニ關スル件」ヲ削除ス



# 海軍公報 第五二一五號

昭和二十年十月三十一日(水)  
海軍大臣官房

### ○令 達

官房軍第五〇七號

海軍省經理局臨時調查班規程左ノ通定ム

昭和二十年十月二十日

海軍大臣

海軍省經理局臨時調查班規程

第一條 當分ノ間海軍省經理局ニ臨時調査班ヲ置ク

第二條 調査班ハ昭和二十年八月終戰ニ際シ部内各屬ニ於ケル

契約解除ニ伴フ善後處理ノ調査ニ關シ左ノ事務ヲ掌ル

一 契約上ノ損害賠償額査定ノ適否

二 契約解除ニ伴フ半成品ノ處理狀況

三 其ノ他契約解除ニ伴フ善後處理事項

第三條 調査班ニ班長及班員ヲ置ク

第四條 班長及班員タルベキ人員左ノ如シ

班長

海軍省出仕

主計科將官

一人

海軍省經理局職員

主計科士官

約六十人

(經理局長承命服務者ヲ含ム)

秘海軍公報 第五二一五號 昭和二十年十月三十一日

第五條 班長ハ海軍大臣之ヲ命ジ班員ハ海軍省經理局長之ヲ命  
ズ

第六條 班長ハ海軍省經理局長ノ命ヲ承ケ班務ヲ總理ス

第七條 班員ハ班長ノ命ヲ承ケ服務ス

官房人第四六五號

來十一月三日明治節ニ付在京諸官ハ當日參賀ニ關シ左ノ通心得

ベシ

昭和二十年十月三十日

海軍大臣

一 午前九時ヨリ午後四時迄ニ參賀スベキ者

(イ) 親任官同待遇、勅任官同待遇

(ロ) 奏任官同待遇並ニ判任官以下ニシテ位勲ヲ有スル者

一 午前九時本省ニ參賀スベキ者

判任官同待遇ニシテ位勲ヲ有セザル者

一 服 裝

武官 第一種軍裝又ハ第三種軍裝 略綬(帶劍セズ)

文官 通常服 但シ本省參賀ニハ制服其ノ他見苦シカラザル適宜ノ

服裝

(備考) 本年明治節宴會ノ儀ハ行ハセラレズ

○通牒

軍務一第二一五號

昭和二十年十月二十九日

海軍省軍務局長

各廳長 殿

作戦關係資料ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍省軍務局長

宛 各廳長

第一八一九三二番電

作戦關係資料蒐集ニ關スル件

目下聯合軍司令部ヨリ大東亞戰争ニ關スル各種緊急調査要求山積シアル處作戦、戰備等關係資料ガ戰災等ニ依リ殆下亡失シ作業ニ至大ノ困難ヲ來シアルニ付關係資料(個人ノ記錄等ヲ含ム)所持ノ向ニ對シ速ニ海軍大學校内作戦關係資料蒐集委員會(史實調査部ト略稱)宛送付方取計ハレ度

發 海軍省軍務局長

宛 各鎮守府、各警備府(除海南)參謀長

第一九一九〇七番電

戰史調査ニ付協力ノ件

目下聯合軍ニ於テハ各種作戦關係事項ノ調査ヲ實施中ニシテ中央ニ於テハ作戦關係資料蒐集委員會(史實調査部ト略稱)之ニ

協力中ナル處各地ニ於テ聯合軍側ヨリ調査ヲ求メラレタル場合ハ左ノ要領ニ依リ協力ノコトトセラレ度

一 爲シ得ル限り正確ナル資料ヲ提供スルコト

不正確ナル資料ノ提供ハ聯合軍側ノ調査ヲ混亂セシムルノミナラス我方ノ誠意ヲ疑ハシムルガ如キコトトナル特ニ留意セラレ度

二 政略、戰略ニ關スル事項ハ特ニ中央ニ於テ各種資料ニ基キ處理中ニ付此ノ種事項ハ地方ニテ處理スルコトナク中央ニ移

サレ度

三 提供セル資料ハ中央ニ於ケル史實調査其他ノ資料トシテ必要ニ付速ニ史實調査部宛報告セラレ度

○難 款

○移轉

松山地方海軍人事部ハ十月二十二日左記ニ移轉セリ

記 松山市道後湯ノ町 松山市役所道後出張所階上

(松山地方海軍人事部)

0090